

第4次三鷹市基本計画第1次改定等に向けた

市民満足度・意向調査

報告書

平成27年3月

三鷹市

目 次

I.	アンケート調査の概要	1
II.	調査結果の概要	4
	(1) 三鷹市での今後の定住意向について	4
	(2) 地域活動への取り組み	4
	(3) 市政に対する満足度と今後の取り組みの重要性	4
	(4) 市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度	5
	(5) スポーツに関する取り組み	6
	(6) 生涯学習活動に関する取り組み	6
	(7) 働き方に関する状況	6
	(8) 男女平等に関する状況	7
III.	回答者の属性	8
	(1) 回答者の性別	8
	(2) 回答者の年齢	9
	(3) 回答者の同居家族の状況	11
	(4) 回答者の世帯構成	12
	(5) 回答者のインターネット・メールの使用状況	13
	(6) 回答者の職業	14
	(7) 回答者の居住地区	15
	(8) 回答者の市内居住年数	17
IV.	調査結果	20
1	三鷹市での今後の定住意向について	20
	(1) 三鷹市で今後の定住意向	20
	(2) 三鷹市での定住意向の理由	25
	(3) 三鷹市からの転出意向の理由	29
2	地域活動への取り組み	31
	(1) 地域活動への取り組み状況	31
	(2) 地域活動の種類	34
	(3) 地域の活動に参加する条件	38
3	市政に対する満足度と今後の取り組みの重要性	42
	(1) 評価方法	43

(2) 施策についての評価.....	43
4 市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度	53
(1) 三鷹市政への満足度.....	53
(2) 三鷹市政への満足度の理由.....	57
(3) 三鷹市役所の行政機関としての信頼度.....	59
(4) 三鷹市役所に期待すること.....	63
5 スポーツに関する取り組み	64
(1) 1年間のスポーツの取り組み状況.....	64
(2) スポーツを行う頻度.....	65
(3) スポーツや運動を行う理由.....	66
6 生涯学習活動に関する取り組み.....	67
(1) 1年間の生涯学習活動の取り組み状況.....	67
(2) 生涯学習活動を行う頻度.....	68
(3) 今後行いたい生涯学習活動.....	69
7 働き方に関する状況.....	70
(1) 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の認知	70
(2) 仕事、家庭、地域・個人の生活における実際・理想別の優先度の比較	71
(3) 若年者の自立に関する意識.....	72
8 男女平等に関する意識.....	73
(1) 男女平等に関する意識.....	73
(2) 職場・学校・地域での不愉快な経験（セクシュアル・ハラスメント等）の有無 ..	74
(3) 親密な関係にある人からの暴力等の経験.....	75
(4) 暴力等の相談経験の有無.....	76
(5) 暴力等の相談先.....	77
(6) 暴力等を相談しなかった理由.....	78
資料編.....	79

I. アンケート調査の概要

① 実施の目的と実施方針

◇実施目的

三鷹市の現行の総合計画である第4次基本計画は、平成23年度から平成34年度を計画期間としているが、平成26年度は計画期間を4年毎の3期（前期・中期・後期）に分けた場合の「前期」最終時期にあたり、平成27年度に予定されている第1次改定に向け、現行計画の施策に対する市民の意向等を十分把握するとともに、多元的・多層的な市民参加の推進を図ることを目的として、市民満足度・意向調査を実施した。

◇実施方針

■施策に対する市民評価の分析

- ・現行計画の施策の取り組みについて、市民がどの程度満足しており、またどの程度それらを重要と考えているかを明らかにする。

■施策への優先順位とニーズの明確化

- ・重要度と満足度を用いた複合的な分析により、施策の優先順位とそれを踏まえた重点プロジェクト等についての検討材料を得る。また、これにより、基本計画改定における個々の施策の位置づけや内容の検討材料を得る。

② 調査方法

■無作為抽出

1) 調査方法

郵送配布・郵送留置法

2) 調査対象

市内在住の満15歳以上の男・女の中から、住民基本台帳をもとに無作為に抽出した。

■地域活動者

1) 調査方法

直接配布・直接回収

2) 調査対象

住民協議会を中心に、日頃から地域で活動をしている210人を抽出し対象とした。

■調査期間：

平成27年2月17日～3月16日

■調査対象サンプル数：

1) 無作為抽出

- ・標本数 3, 500
- ・回収数 1, 505（総回収数1, 509 無効票4）

- ・回収率 43.0%

2) 地域活動者

- ・対象者数 210を抽出
- ・回収数 90 (総回収数90 無効票0)
- ・回収率 42.9%

③ 調査項目

実施方針に即して、以下のような調査項目を設定した。

1) 回答者属性

- ・性別
- ・年齢
- ・世帯構成
- ・自宅や職場等でのインターネット・メールの使用状況
- ・職業
- ・居住地区
- ・居住年数

2) 三鷹市での定住意向とその理由

3) 地域活動への取り組み状況

- ・地域活動への取り組み状況
- ・取り組んでいる(取り組みたい)分野
- ・地域活動への参加条件

4) 市政への満足度・重要度

5) 市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

- ・満足度とその理由(自由記述)
- ・三鷹市役所への信頼度
- ・三鷹市役所に期待すること・ご意識等(自由記述)

6) スポーツに関する取り組み状況

- ・スポーツの実施状況
- ・スポーツに取り組む頻度
- ・スポーツに取り組む理由

7) 生涯学習活動に関する取り組み状況

- ・生涯学習活動の実施状況
- ・生涯学習活動に取り組む頻度
- ・生涯学習活動の内容

8) 働き方に関する状況

- ・「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の認知
- ・仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度
- ・若者の自立に関する意識

9) 男女平等に関する状況

- ・男女平等の状況に対する評価
- ・セクシュアル・ハラスメント等の経験
- ・DVの経験と相談状況、相談先
- ・相談しなかった理由

II. 調査結果の概要

(1) 三鷹市での今後の定住意向について

- ・三鷹市での定住意向は約9割を占めており、転出意向を有する割合は1割に満たない。定住意向の理由として「交通の便が良い」「住環境が良い」の割合が約6割を占めている。一方、転出意向の理由として「その他」の割合が約4割を占め、個別的な理由を挙げる回答者が多いが、それ以外では「職場から遠い」「道路交通環境が悪い」「住環境が悪い」「子育て環境が悪い」等が多く挙げられている。
 - *年齢別では、30代で「これからも住み続けたい」とする人の割合が比較的低く、年代が上昇するにつれて定住意向が増加する傾向にある。
 - *地区別では、牟礼、下連雀、大沢で「これからも住み続けたい」とする人の割合が比較的高く、北野で比較的低くなっている。
 - *居住年数別では、3年未満で「これからも住み続けたい」とする人の割合が比較的低く、居住年数の上昇に伴い定住意向が増加する傾向にある。
- ・地域活動者については、定住意向は9割を占めており、転出意向を有する割合は1割に満たない。定住意向の理由として「持ち家がある」の割合が約7割を占めている。

(2) 地域活動への取り組み

- ・地域活動に取り組んでいる・取り組み意向は約3割を占めている。一方、10代～30代の取り組み・取り組み意向が特に低くなっている。
- ・ニーズの高い地域活動の種類として、趣味・スポーツ等のサークル活動が最も高い。
- ・今後地域活動に参加するために必要な条件としては、仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担、仕事をしながらでも参加しやすい曜日・時間帯への配慮などが求められている。特に、仕事をしながらでも参加可能な時間的負担についての要望は20代～50代で高くなっている。

(3) 市政に対する満足度と今後の取り組みの重要性

- ・現状の市政に対する満足度の高い施策は「成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト」であり、重要度の高い施策は「危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」である。
 - *年齢別満足度では、10～40代で「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」の満足度が比較的高い。
 - *地区別満足度では、井の頭、北野、新川では「ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」、新川、井口、上連雀、下連雀、大沢では「危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」、牟礼、井口、上連雀、野崎では「持続可能な都

- 市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト」、井の頭、牟礼、中原、深大寺では「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」の満足度がそれぞれ比較的高い。
- *年齢別の重要度では、20～40代、60代で「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」が、10代、30～50代、70代で「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」が高くなっている。
 - *地区別の重要度では、井の頭、新川、中原、上連雀、下連雀、野崎、大沢で「生き生きと子どもが輝く、子ども子育て支援プロジェクト」、牟礼、北野、中原、井口、下連雀、野崎、深大寺で「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」、また、北野で「市民の命、暮らしを守るセーフティーネットプロジェクト」の重要度がそれぞれ高くなっている。
 - ・満足度・重要度を総合的にみると、「現在の満足度が低く」かつ「重要度が高い」施策として、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」、「ともに支え合う地域を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」を中心に、今後の重点的な取り組みが求められている。
 - *年齢別では、ほぼ全ての年代で「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」の強化が求められている。
 - *地区別では、井の頭、牟礼では「危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」、北野では「市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト」の強化が求められている。
 - ・地域活動者の現状の市政に対する満足度の高い施策は「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」、「成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト」であり、重要度の高い施策は「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」である。
 - ・地域活動者の満足度・重要度を総合的にみると、「現在の満足度が低く」かつ「重要度が高い」施策として、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」を中心に、今後の重点的な取り組みが求められている。

(4) 市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

- ・無回答を除く回答者の約8割が三鷹市政に「満足している」または「まあ満足している」と回答している。年齢別では、10代、20代、80代以上で他の年代と比較して高くなっている。地区別では、深大寺で他地区と比較して高くなっている。
- ・無回答を除く回答者の約8割が三鷹市役所を「信頼できる」または「まあ信頼できる」と回答している。地区別では、井の頭、牟礼、井口、下連雀、野崎で他地区と比較して高くなっている。

- ・自由記入において指摘された満足、不満足の原因について、満足の原因としては、市の政策全般がよい、三鷹市の職員の対応・雰囲気・業務への姿勢がよい、住環境が良好である、安心安全な環境が整備されている、広報・広聴が充実している、子育て支援環境が充実している、その他行政サービス全般が充実しているなどの指摘が多くなっている。また、不満足の原因としては、全般に満足と比べると件数は少ないものの、都市基盤整備のあり方が不十分、子育て支援環境が不十分、公共施設の数・利便性の不足、市の政策全般が悪い、広報・広聴が不十分などの指摘が多くなっている
- ・三鷹市役所に期待することとして自由記入により回答を得た結果、公共施設の充実・利便性の向上、子育て支援の充実、道路・道路環境の整備、職員の対応・雰囲気・業務への姿勢の改善、安全安心なまちづくり、高齢者支援サービスの向上、自然環境、市街地環境の保全、整備などの指摘が多くなっている。

(5) スポーツに関する取り組み

- ・1年間で何らかのスポーツをしたことがある人は約6割で、したことがない人は3割を占める。年齢別では、80代以上で取り組んでいない人の割合が他世代と比較して高くなっている。
- ・スポーツを行う頻度は「週3日以上」が最も多い。性別では、女性で頻度が高くなっている。年齢別では、20代、30代で他年代と比較して頻度が低くなっている。
- ・スポーツや運動を行う理由として、健康の維持・増進や体力づくりが約7割を占める。年齢別では、10～30代は運動不足解消が主な理由となっている。

(6) 生涯学習活動に関する取り組み

- ・1年間で何らかの生涯学習を行った人は約4割を占める。地区別では、深大寺で取り組んだ人の割合が高くなっている。
- ・生涯学習活動を行う頻度は「1か月に1～3日」が最も多いが、頻度にはばらつきがみられる。性別では、男性で頻度が高い傾向となっている。年齢別では、60代で頻度が高くなっている。
- ・今後行いたい生涯学習活動の内容は、「趣味的なもの」が最も多い。

(7) 働き方に関する状況

- ・「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について、言葉も内容も知っている人は約3割であるが、内容や言葉も含めて知らないとする人も一定割合存在する。性別では、女性で内容までは知らないとする人の割合が高くなっている。年齢別では、50代以上で年代があがるにつれて「内容までは知らない」「言葉も内容も知らない」とする人の割合が高くなっている。
- ・実際の生活と理想の生活での優先度の比較について、実際の生活では、家庭生活を優先する割

合が最も多く、理想の生活では、仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先する割合が高くなっている。性別では、実際の生活で男性が仕事を優先する割合が高くなっている。年齢別では、実際の生活については、10代で地域・個人の生活を優先、20代、50代で仕事を優先、40代で仕事と家庭生活をともに優先する割合が高くなっている。理想の生活については、30代で仕事と家庭生活をともに優先する割合が高くなっている。

- ・若年者の自立について、項目別では「若者の自立について、社会的に支援していくことは必要である」で「そう思う」または「少しそう思う」と回答した人の割合が最も多い。

*性別では、女性で「自立していない若年者が増えている」「現状の経済状況では働きたくても働けない若者がいるのは仕方がない」「若者の自立について、社会的に支援していくことは必要である」で、「そう思う」「少しそう思う」の合計割合が男性よりも多い。

*年齢別では、20代で「自立していない若年者が増えている」の項目が、「そう思う」「少しそう思う」の合計割合が他年代と比較して多く、10代、30代、40代で比較的少ない。

(8) 男女平等に関する状況

- ・男女平等に関する意識について、項目別では、「政治の場で」「男性の方がやや優遇されている」と「男性の方が優遇されている」の合計割合が最も多い。

*性別では、「家庭の中で」「政治の場で」「法律や制度の上で」の各項目で、女性が女性よりも男性の方が優遇されていると評価している。

*年齢別では、「家庭の中で」については30代、50代で、「政治の場で」については10代、30代、70代以上で、「法律や制度の上で」については40代、50代で、それぞれ男性の方が優遇されていると評価されている。また、「職場の中で」「社会生活の場で」については、10代で平等になっていると評価されている。

- ・職場・学校・地域などでの不愉快な経験（セクシュアル・ハラスメント等）について、「特にない」とする割合が全般として多い。
- ・親密な関係にある人からの暴力等の経験について、いずれの項目も経験が無いとする割合が多いものの、項目別では、「大声で怒鳴ったり、人前でばかりにされたり、命令口調でものを言われた」で、経験があるとする人の割合が比較的高い。年齢別では、20～40代でいずれも経験がないとする人の割合が比較的多い。
- ・暴力等についての相談経験について、約4割が相談したとしている。
- ・暴力等の相談先について、知人・友人が最も多い。
- ・暴力等を相談しなかった理由について、「相談するほどの事ではないと思ったから」が過半を占め、最も多くなっている。

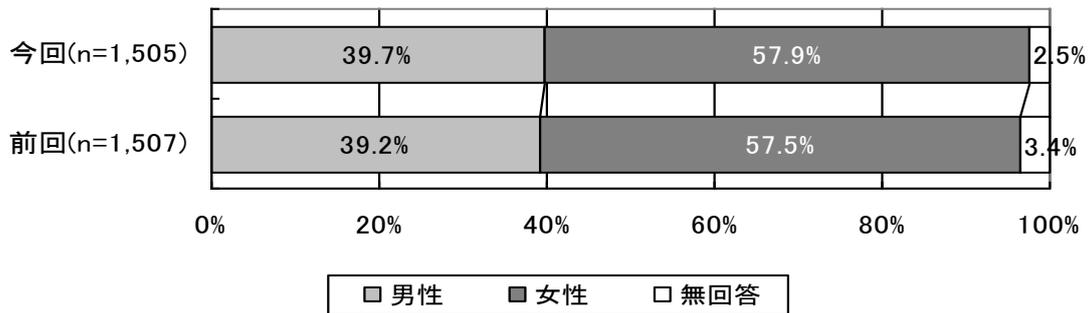
Ⅲ. 回答者の属性

(1) 回答者の性別

男性が39.7%、女性が57.9%である。前回調査（平成23年2月実施、以下同様）と比較するとほぼ同様の傾向である。

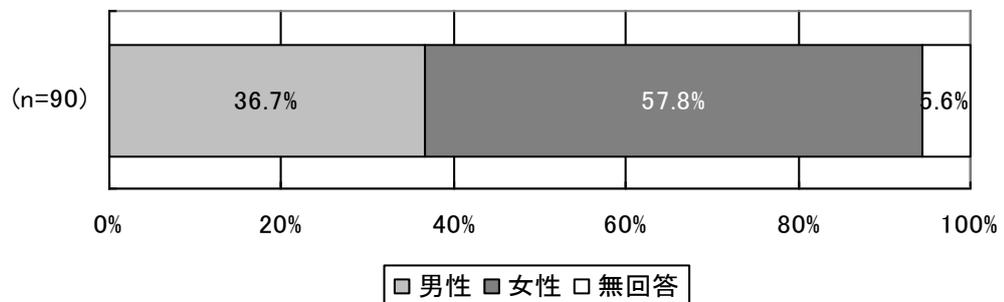
地域活動者では、男性が36.7%、女性が57.8%と無作為抽出者とほぼ同様の傾向である。

図表 III-1 回答者の性別（単一回答、n=1,505）



注) 小数第二位を四捨五入しているため回答率の合計は必ずしも100%にはならない。以下同様。

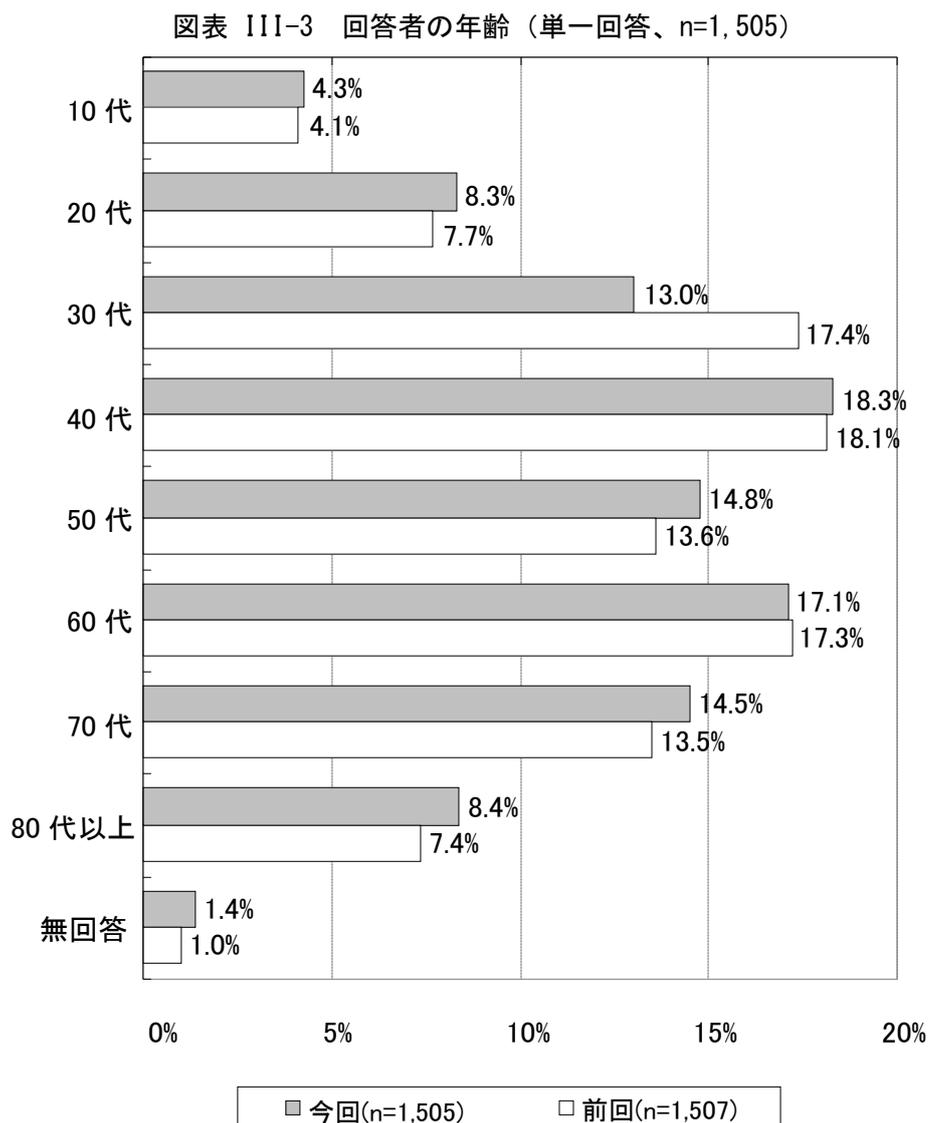
図表 III-2 回答者の性別（地域活動者）（単一回答、n=90）



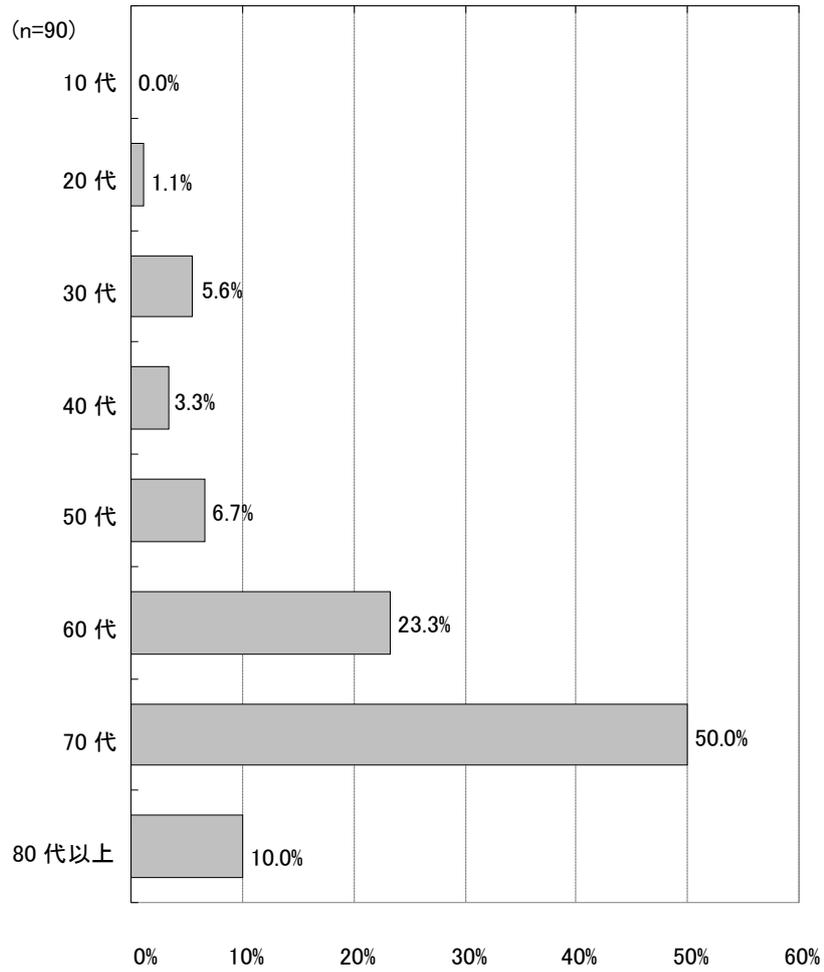
(2) 回答者の年齢

回答者の年齢は、40代（18.3%）が最も多く、次いで60代（17.1%）、50代（14.8%）、70代（14.5%）、30代（13.0%）、80代以上（8.4%）、20代（8.3%）、10代（4.3%）の順となっている。前回調査と比較すると、50代、70代の割合が微増し、30代の割合が減少している。

地域活動者では、70代（50.0%）が最も多く、次いで60代（23.3%）、80代以上（10.0%）、50代（6.7%）、30代（5.6%）、40代（3.3%）、20代（1.1%）となっており、70代以上の高齢者の割合が多くなっている。



図表 III-4 回答者の年齢（地域活動者）（単一回答、n=90）

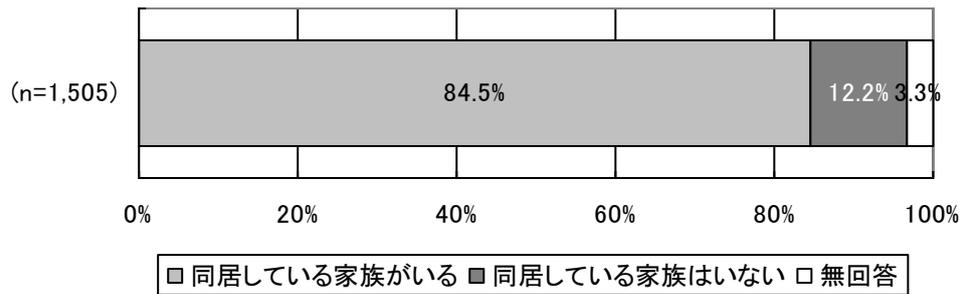


(3) 回答者の同居家族の状況

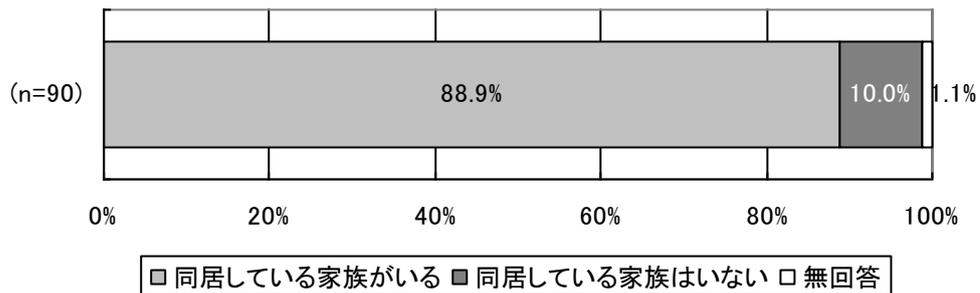
回答者の同居家族の状況は、同居している家族がいるとする人の割合（84.5%）が最も多く、同居している家族はいない人の割合（12.2%）は1割に留まる。

地域活動者では、無作為抽出者と同様の傾向で、同居している家族がいるとする人の割合（88.9%）が最も多く、同居している家族はいない人の割合（10.0%）は1割に留まる。

図表 III-5 回答者の同居家族の状況（単一回答、n=1,505）



図表 III-6 回答者の同居家族の状況（地域活動者）（単一回答、n=90）

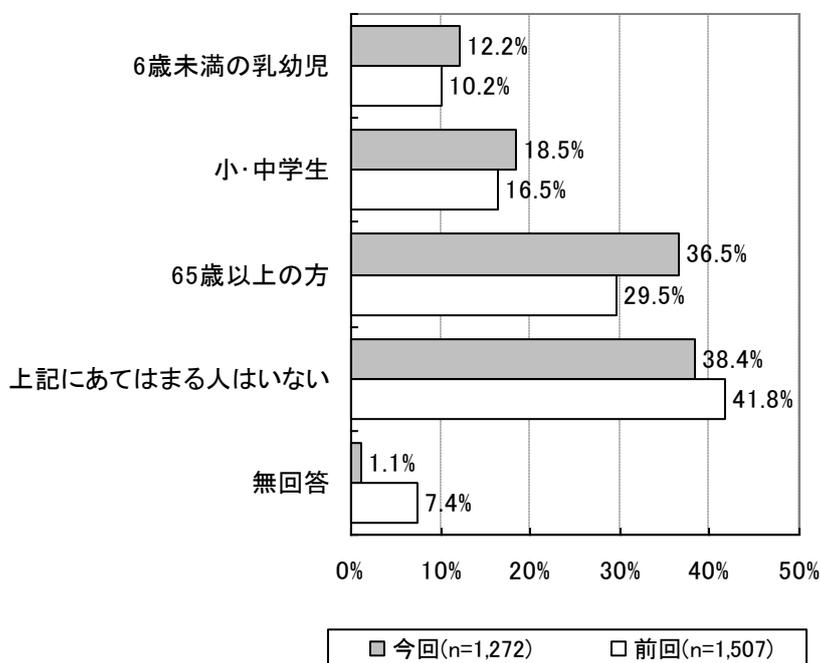


(4) 回答者の世帯構成

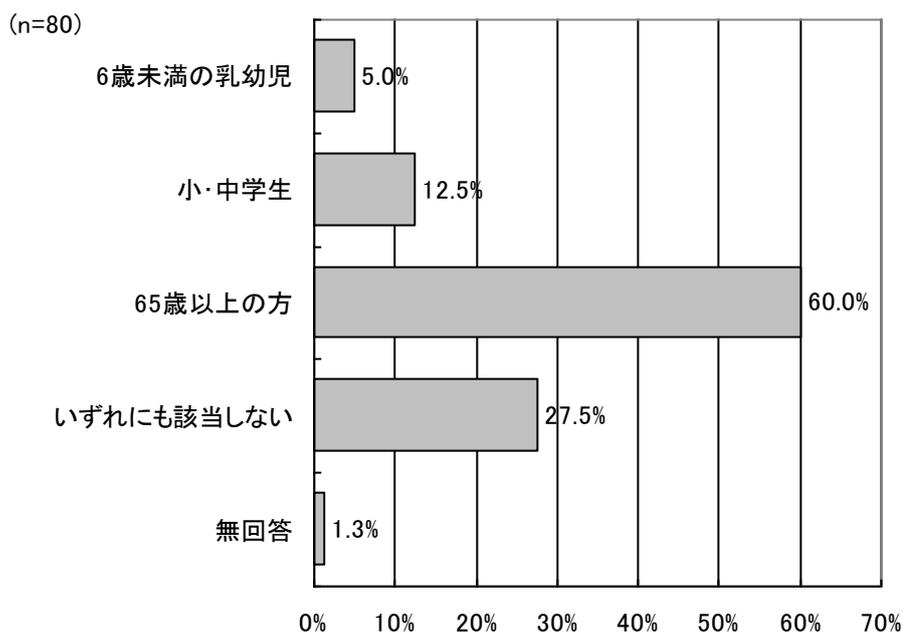
(3) 回答者の同居家族の状況で、「同居している家族がいる」とした人を対象として、世帯構成を把握したところ、6歳未満の乳幼児、小・中学生、65歳以上の方のいずれにもあてはまらないとした人の割合(38.4%)が最も多く、次いで65歳以上の方との同居(36.5%)、小・中学生(18.5%)、6歳未満の乳幼児(12.2%)の順となっている。前回調査と比較すると、65歳以上の方、小・中学生、6歳未満の乳幼児と同居する人の割合がそれぞれ増加している。

地域活動者では、65歳以上の方の割合(60.0%)が最も多く、次いでいずれにも該当しない(27.5%)、小・中学生(12.5%)、6歳未満の乳幼児(5.0%)の順となっている。

図表 III-7 回答者の世帯構成(単一回答、n=1,272)



図表 III-8 回答者の世帯構成（地域活動者）（単一回答、n=80）

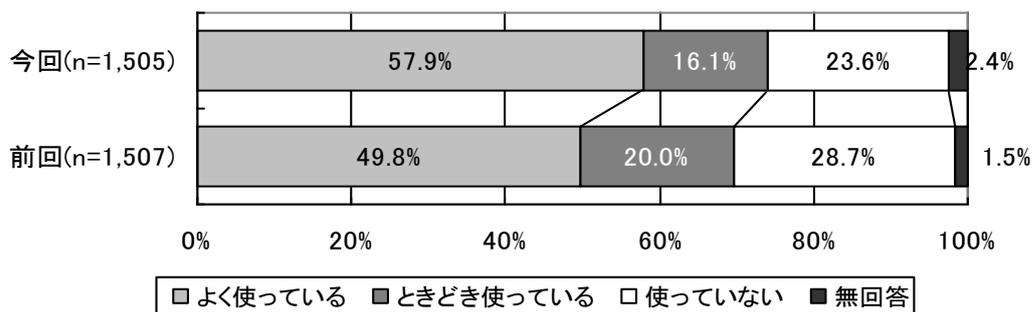


(5) 回答者のインターネット・メールの使用状況

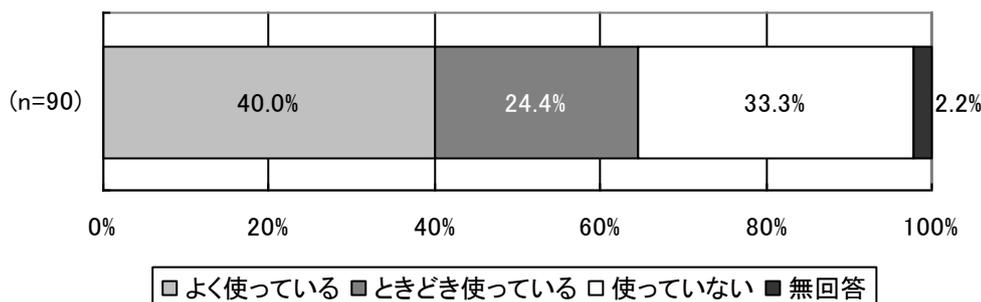
回答者のインターネット・メールの使用状況は、「よく使っている」の割合（57.9%）が最も多く、次いで「使っていない」（23.6%）、「ときどき使っている」（16.1%）の順となっている。前回調査と比較すると、「よく使っている」の割合が増加している。

地域活動者でも無作為抽出者と同様の傾向で、「よく使っている」の割合（40.0%）が最も多く、次いで「使っていない」（33.3%）、「ときどき使っている」（24.4%）の順となっている。

図表 III-9 インターネット・メールの使用状況（単一回答、n=1,505）



図表 III-10 インターネット・メールの使用状況（地域活動者）（単一回答、n=90）

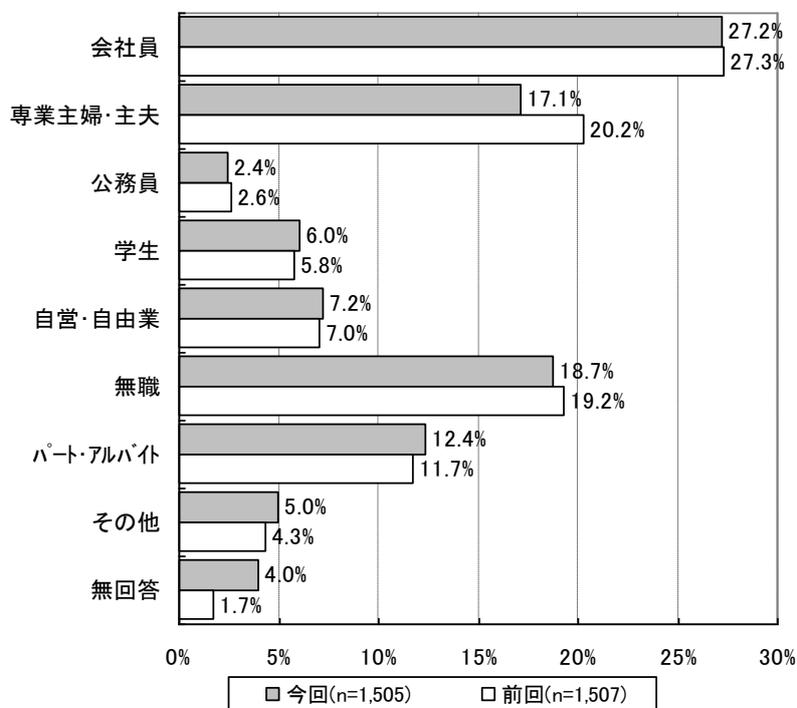


(6) 回答者の職業

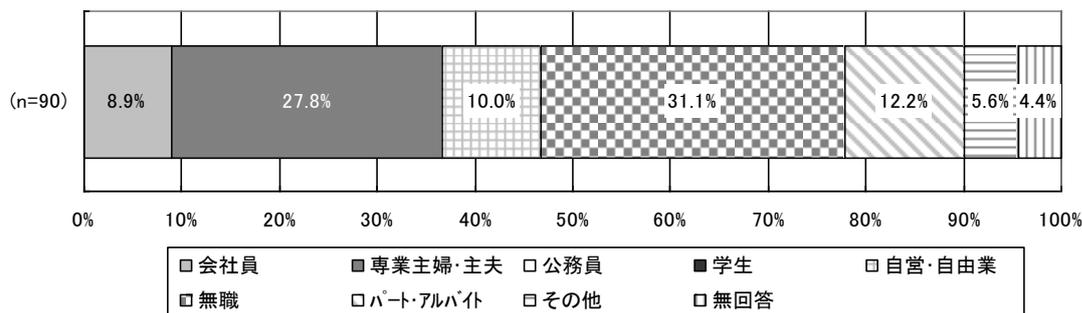
回答者の職業は、会社員の割合（27.2%）が最も多く、次いで無職（18.7%）、専業主婦・主夫（17.1%）、パート・アルバイト（12.4%）、自営・自由業（7.2%）、学生（6.0%）、その他（5.0%）、公務員（2.4%）の順となっている。前回調査と比較すると、専業主婦・主夫の割合が減少し、パート・アルバイト、自営・自由業、学生の割合が微増している。その他の内容としては、個別的な職種名が多数を占めるが、それ以外の内容として団体職員、契約社員等の回答がみられた。

地域活動者では、無職（31.1%）が最も多く、次いで専業主婦・主夫（27.8%）と、2項目が突出して高くなっている。その他の内容としては、個別的な職種名が多数を占めるが、それ以外の内容として団体職員の回答がみられた。

図表 III-11 回答者の職業（単一回答、n=1,505）



図表 III-12 回答者の職業（地域活動者）（単一回答、n=90）

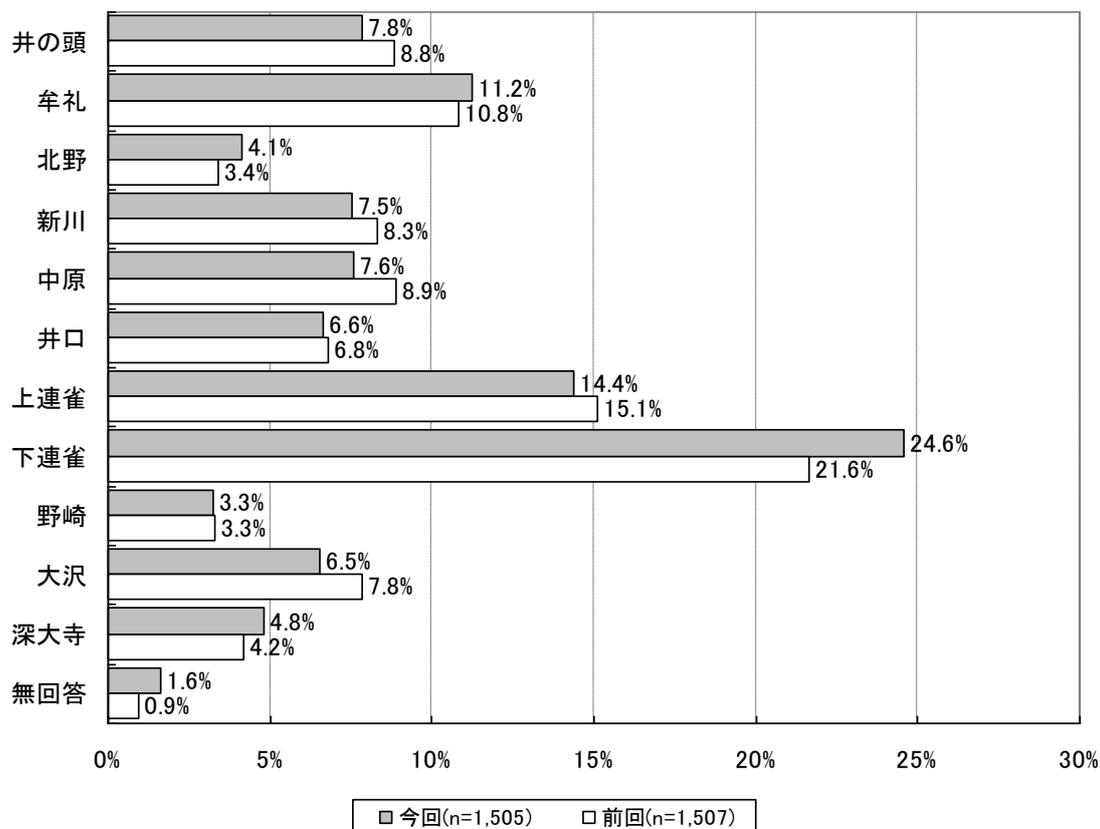


(7) 回答者の居住地区

回答者の居住地区は、下連雀の割合(24.6%)が最も多く、次いで上連雀(14.4%)、牟礼(11.2%)、井の頭(7.8%)の順となっている。前回調査と比較すると、概ね同様の傾向であるが、下連雀の割合が増加し、大沢の割合が減少している。

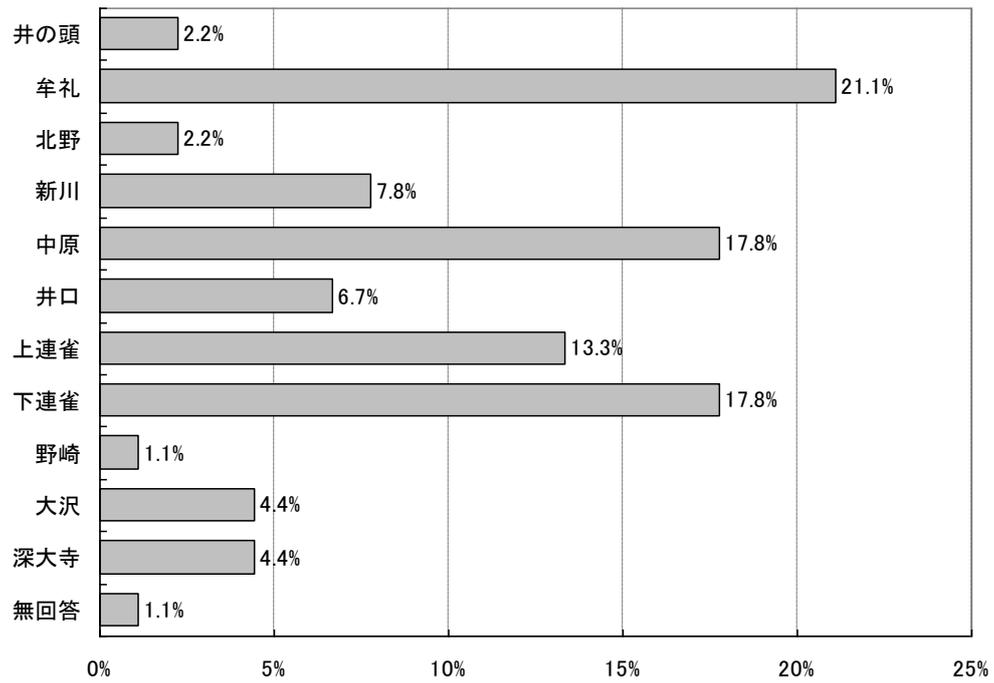
地域活動者では、牟礼(21.1%)が最も多く、次いで中原、下連雀(各17.8%)、上連雀(13.3%)の順となっている。

図表 III-13 回答者の居住地区（単一回答、n=1,505）



図表 III-14 回答者の居住地区（地域活動者）（単一回答、n=90）

(n=90)



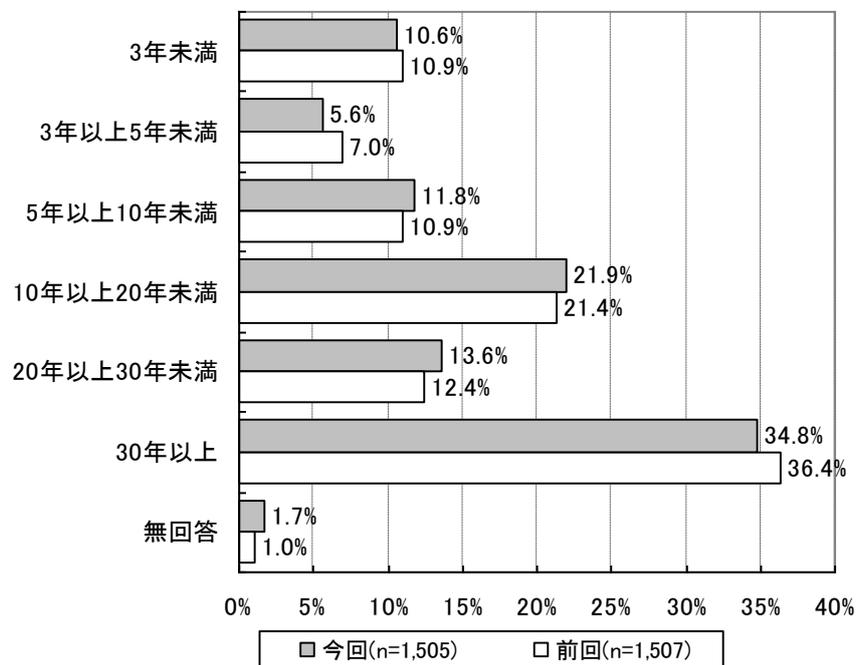
(8) 回答者の市内居住年数

回答者の市内居住年数は、「30年以上」の割合（34.8%）が最も多く、次いで「10年以上20年未満」（21.9%）、「20年以上30年未満」（13.6%）、「5年以上10年未満」（11.8%）、「3年未満」（10.6%）、「3年以上5年未満」（5.6%）の順となっている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっているが、「30年以上」の割合が減少し、5年以上の各層の割合が増加している。

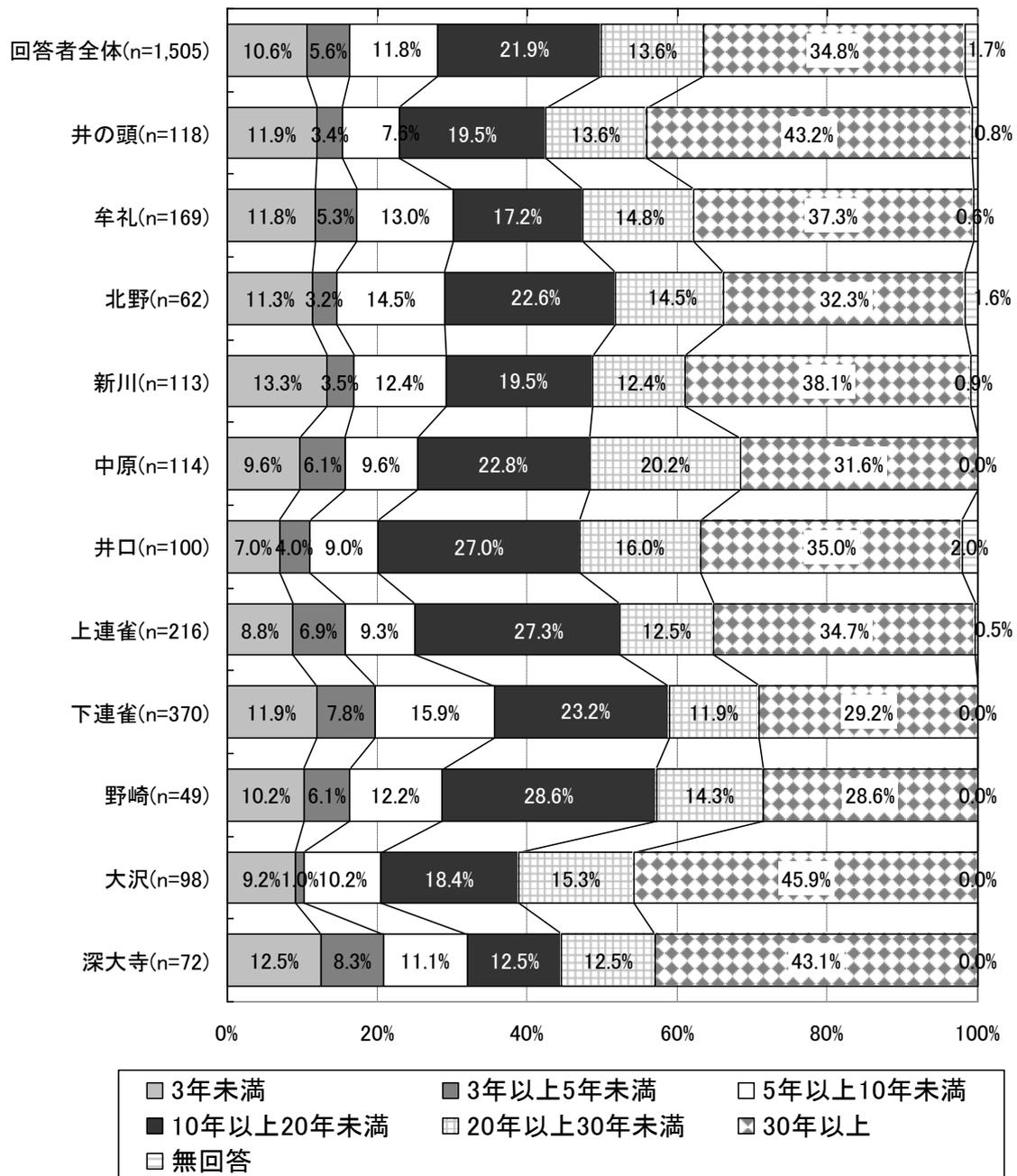
地区別では、大沢で「30年以上」の割合（45.9%）が最も多くなっている。

地域活動者では、「30年以上」の割合が約8割と他を圧倒して多くなっている。

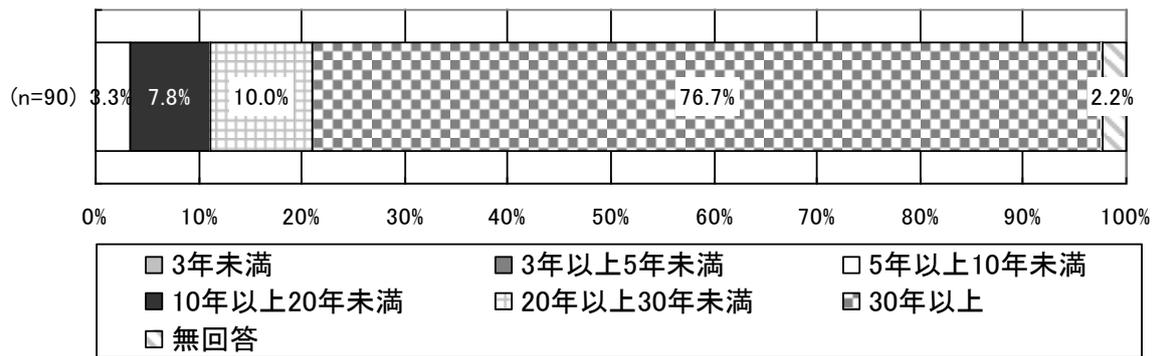
図表 III-15 回答者の市内居住年数（単一回答、n=1,505）



図表 III-16 市内居住年数（単一回答、n=1,505）（地区別）



図表 III-17 回答者の市内居住年数（地域活動者）（単一回答、n=90）



IV. 調査結果

1 三鷹市での今後の定住意向について

(1) 三鷹市で今後の定住意向

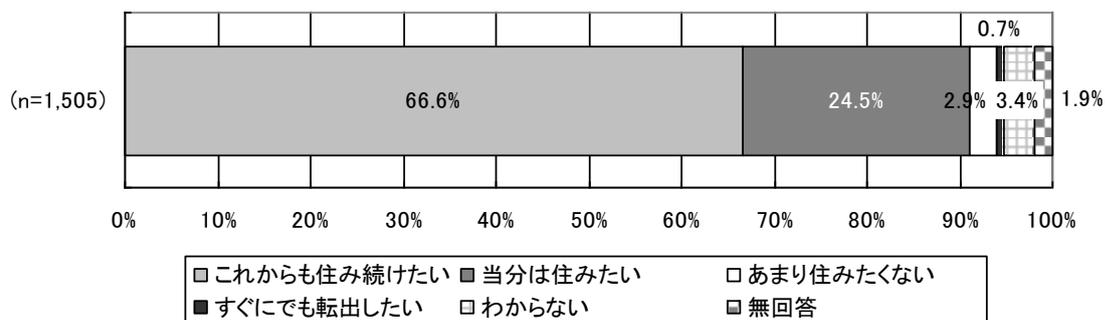
問1 あなたは三鷹市に住み続けたいと思いますか。 あてはまるもの1つに○印をつけてください。

「これからも住み続けたい」の割合（66.6%）が最も多く、次いで「当分は住みたい」（24.5%）、「わからない」（3.4%）、「あまり住みたくない（機会があれば転出したい）」（2.9%）の順となっている。「これからも住み続けたい」と「当分は住みたい」を合算すると約9割が定住意向を有している。

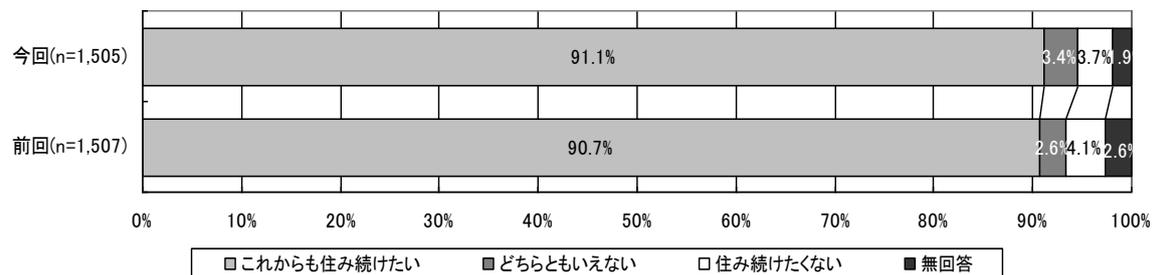
前回調査と今回調査の「これからも住み続けたい」と「当分は住みたい」の割合の合計値（91.1%）との比較では増加しており、転出意向を有する人は1割に満たない。

地域活動者では、「これからも住み続けたい」の割合が9割と他を圧倒して多くなっている。

図表 IV-1 三鷹市での定住意向（単一回答、n=1,505）

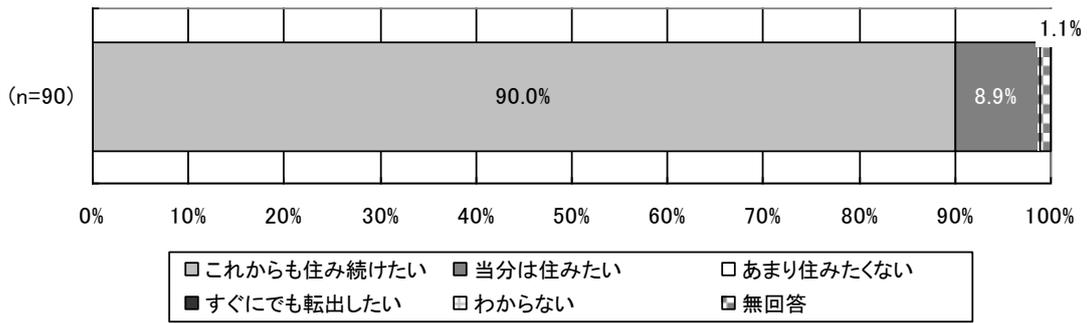


図表 IV-2 三鷹市での定住意向（前回調査比較）



注) 「これからも住み続けたい」の割合は、「これからも住み続けたい」と「当分は住みたい」の合算値。また「住み続けたくない」の割合は、「あまり住みたくない（機会があれば転出したい）」と「すぐにでも転出したい」の合算値とした。

図表 IV-3 三鷹市での定住意向（地域活動者）（単一回答、n=90）

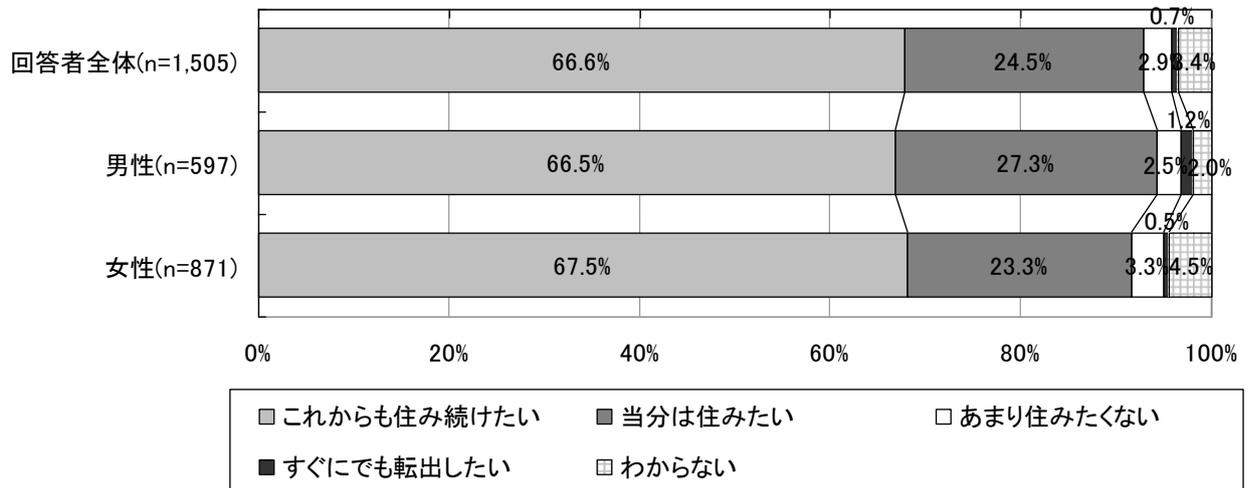


① 性別

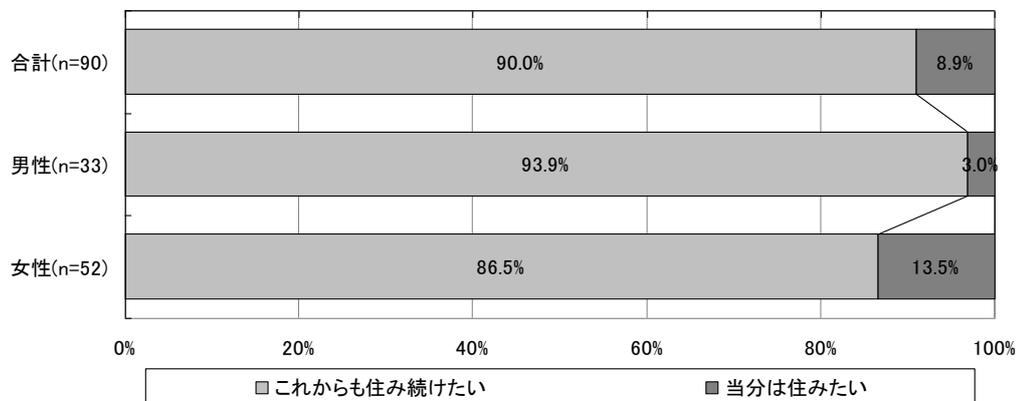
性別では、男女ともほぼ同様の傾向である。

地域活動者では、男性で「これからも住み続けたい」とする人の割合がやや高くなっている。

図表 IV-4 三鷹市での定住意向（性別）



図表 IV-5 三鷹市での定住意向（地域活動者）（性別）

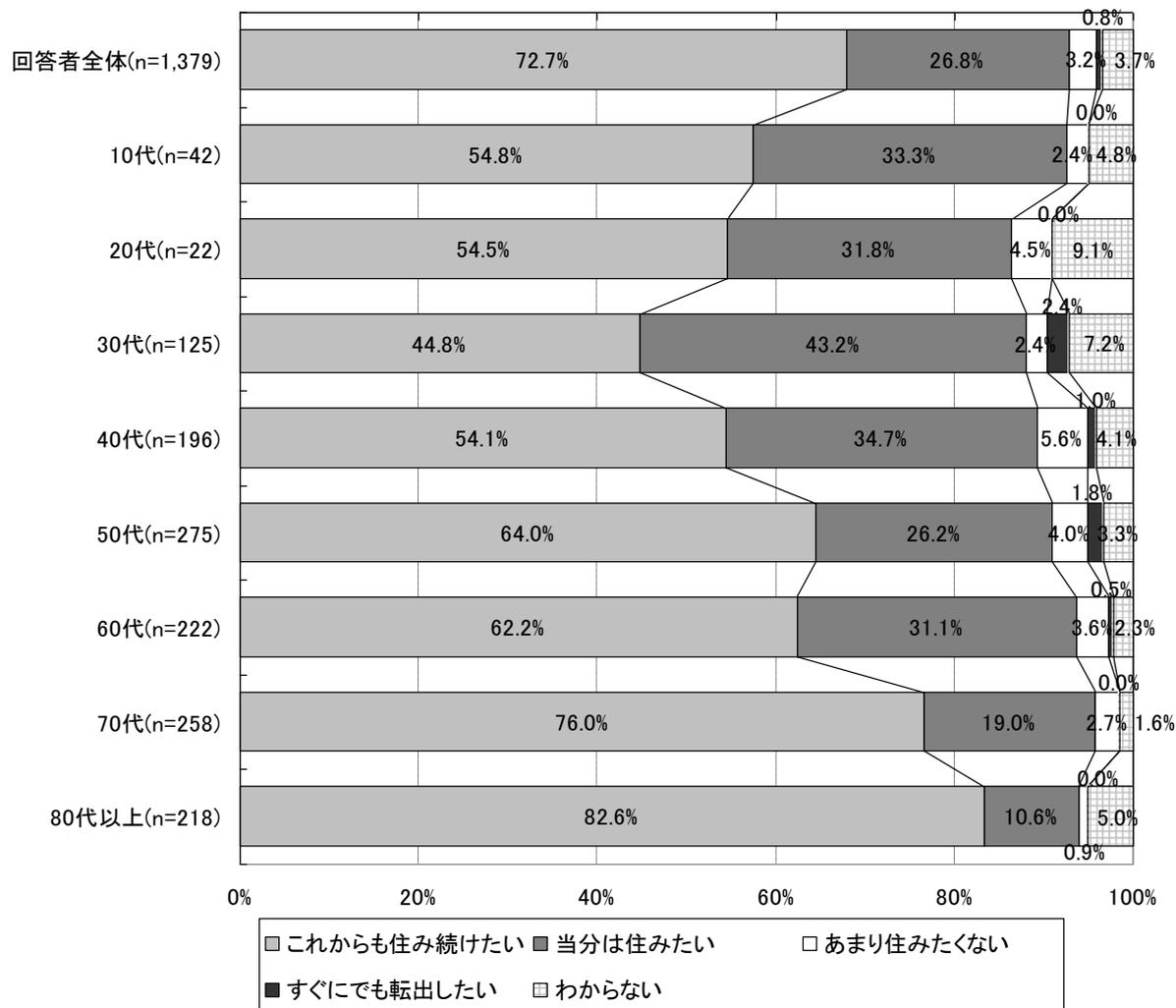


注) 地域活動者のクロス分析はいずれも母数が小さく統計上有意でない点に留意が必要である。以下同様。

② 年齢別

年齢別では、30代で「これからも住み続けたい」とする人の割合が最も低く、年代の上昇に伴い増加する傾向である。

図表 IV-6 三鷹市での定住意向（年齢別）

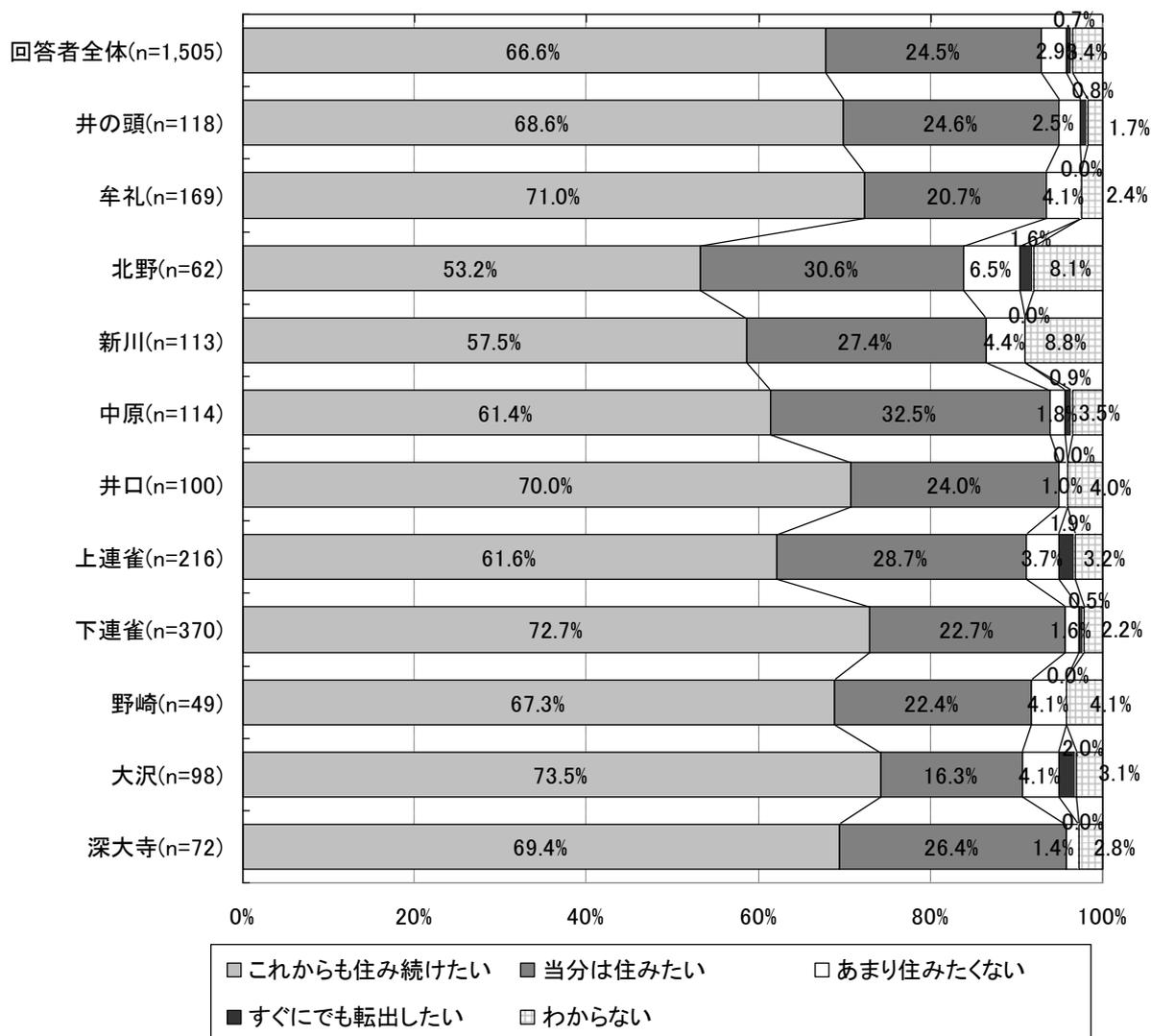


注) 20代については、母数が小さく統計上有意でない点に留意が必要である。以下同様。

③ 地区別

地区別では、牟礼、下連雀、大沢で「これからも住み続けたい」とする人の割合が比較的多くなっている。一方、北野で「これからも住み続けたい」とする人の割合が最も低い。

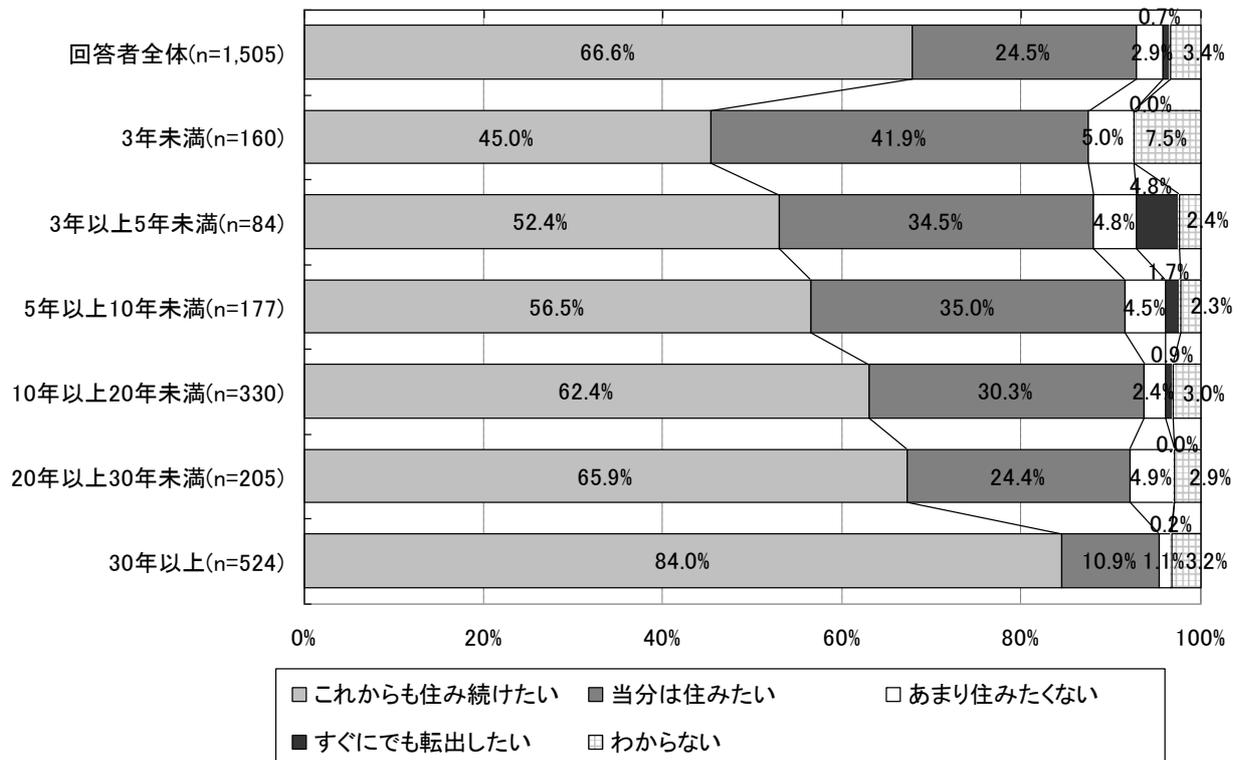
図表 IV-7 三鷹市での定住意向（地区別）



④ 居住年数別

居住年数別では、3年未満で「これからも住み続けたい」とする人の割合が比較的 low、居住年数の上昇に伴い増加傾向にある。

図表 IV-8 三鷹市での定住意向（居住年数別）



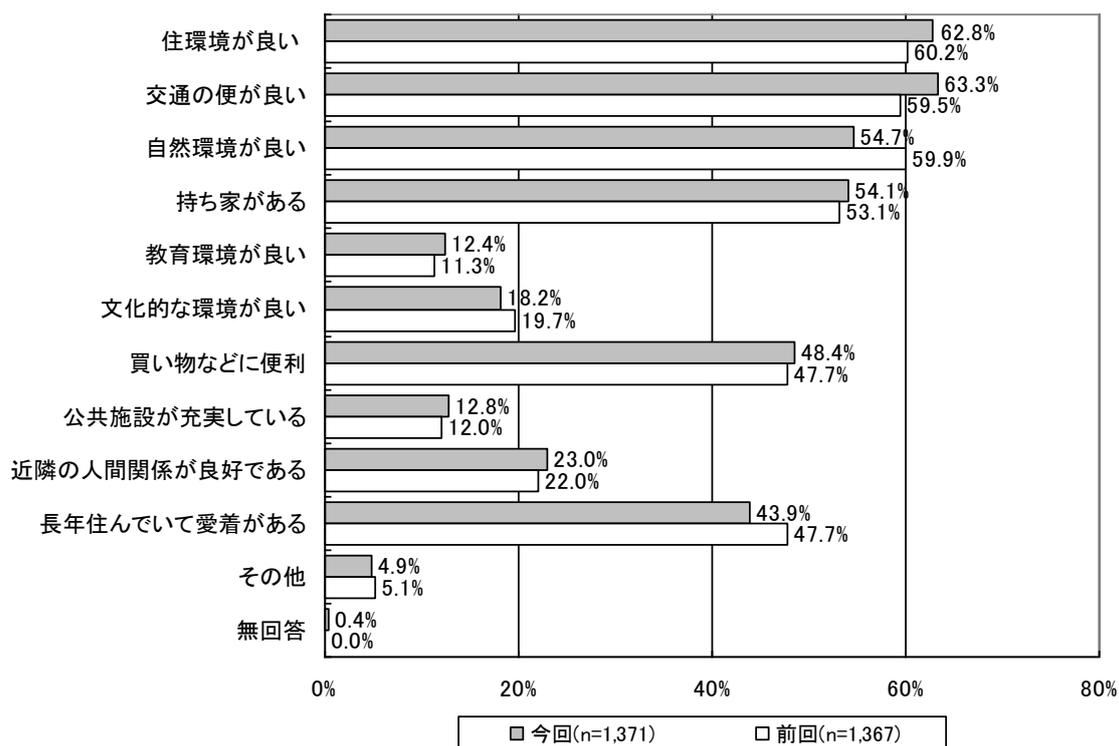
(2) 三鷹市での定住意向の理由

問 1-1 三鷹市に住み続けたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

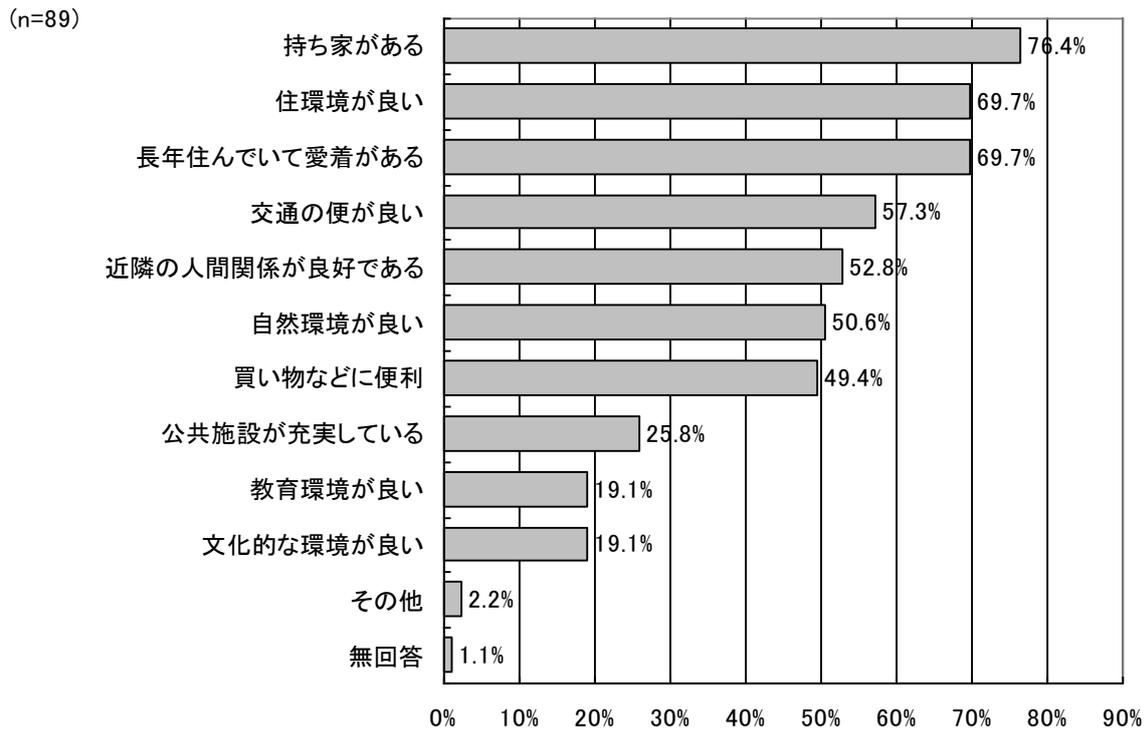
「1」(1)問1で「これからも住み続けたい」「当分は住みたい」と回答した人に対し、定住意向の理由を把握したところ、「交通の便が良い」の割合(63.3%)が最も多く、次いで「住環境が良い」(62.8%)、「自然環境が良い」(54.7%)、「持ち家がある」(54.1%)、「買い物などに便利」(48.4%)の順となっている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向ながら、「自然環境が良い」の割合が減少し、「住環境が良い」「交通の便が良い」の2項目が増加している。その他の理由として、「個人経営の店舗がある」等の職場との近接性、「実家が近い」等の家族の住居との近接性、病院等医療機関の充実等が挙げられた。

地域活動者では、「持ち家がある」の割合(76.4%)が最も多く、次いで「住環境が良い」「長年住んでいて愛着がある」(各 69.7%)、「交通の便が良い」(57.3%)、「近隣の人間関係が良好である」(52.8%)の順となっている。

図表 IV-9 三鷹市での定住意向の理由(複数回答、n=1,371)



図表 IV-10 三鷹市での定住意向の理由（地域活動者）（複数回答、n=89）



① 性別

性別では、第3位以降の傾向に差がみられ、男性で「持ち家がある」の割合が比較的高くなっている。

図表 IV-11 三鷹市での定住意向の理由（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体(n=1,371)	交通の便が良い 63.3%	住環境が良い 62.8%	自然環境が良い 54.7%	持ち家がある 54.1%	買い物などに便利 48.4%
男性(n=560)	交通の便が良い 63.6%	住環境が良い 62.7%	持ち家がある 54.5%	自然環境が良い 52.1%	買い物などに便利 44.6%
女性(n=791)	交通の便が良い 63.6%	住環境が良い 63.2%	自然環境が良い 56.6%	持ち家がある 54.4%	買い物などに便利 51.7%

注) 無回答を除いて掲載しているため、各n値の合計が回答者全体値と合致しない場合がある。以下同様。

② 年齢別

年齢別では、20～40代で「住環境が良い」、60代で「持ち家がある」、80代以上で「長年住んでいて愛着がある」がそれぞれ第1位となっており、年齢による差がみられる。

図表 IV-12 三鷹市での定住意向の理由（年齢別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体(n=1,371)	交通の便が良い 63.3%	住環境が良い 62.8%	自然環境が良い 54.7%	持ち家がある 54.1%	買い物などに便利 48.4%
10代(n=56)	交通の便が良い 58.9%	住環境が良い 44.6%	長年住んでいて 愛着がある 41.1%	買い物などに便利 37.5%	自然環境が良い 32.1%
20代(n=110)	住環境が良い 65.5%	交通の便が良い 64.5%	自然環境が良い 52.7%	長年住んでいて 愛着がある 40.0%	買い物などに便利 39.1%
30代(n=174)	住環境が良い 60.9%	交通の便が良い 54.6%	自然環境が良い 48.3%	買い物などに便利 40.2%	持ち家がある 37.9%
40代(n=248)	住環境が良い 61.7%	交通の便が良い 61.3%	持ち家がある 58.5%	自然環境が良い 51.2%	買い物などに便利 47.2%
50代(n=207)	交通の便が良い 67.6%	住環境が良い 65.2%	自然環境が良い 59.4%	持ち家がある 58.9%	買い物などに便利 53.6%
60代(n=245)	持ち家がある 70.6%	交通の便が良い 66.9%	住環境が良い 62.4%	自然環境が良い 59.2%	長年住んでいて 愛着がある 53.1%
70代(n=203)	交通の便が良い 68.0%	住環境が良い 67.0%	持ち家がある 66.5%	自然環境が良い 61.1%	買い物などに便利 59.6%
80代以上(n=122)	長年住んでいて 愛着がある 64.8%	持ち家がある 63.9%	住環境が良い 63.1%	交通の便が良い 58.2%	自然環境が良い 54.1%

③ 地区別

地区別では、井の頭、牟礼、北野、大沢で「自然環境が良い」、新川、中原、井口、野崎、深大寺で「住環境が良い」がそれぞれ第1位となっており、地区による差がみられる。

図表 IV-13 三鷹市での定住意向の理由（地区別）

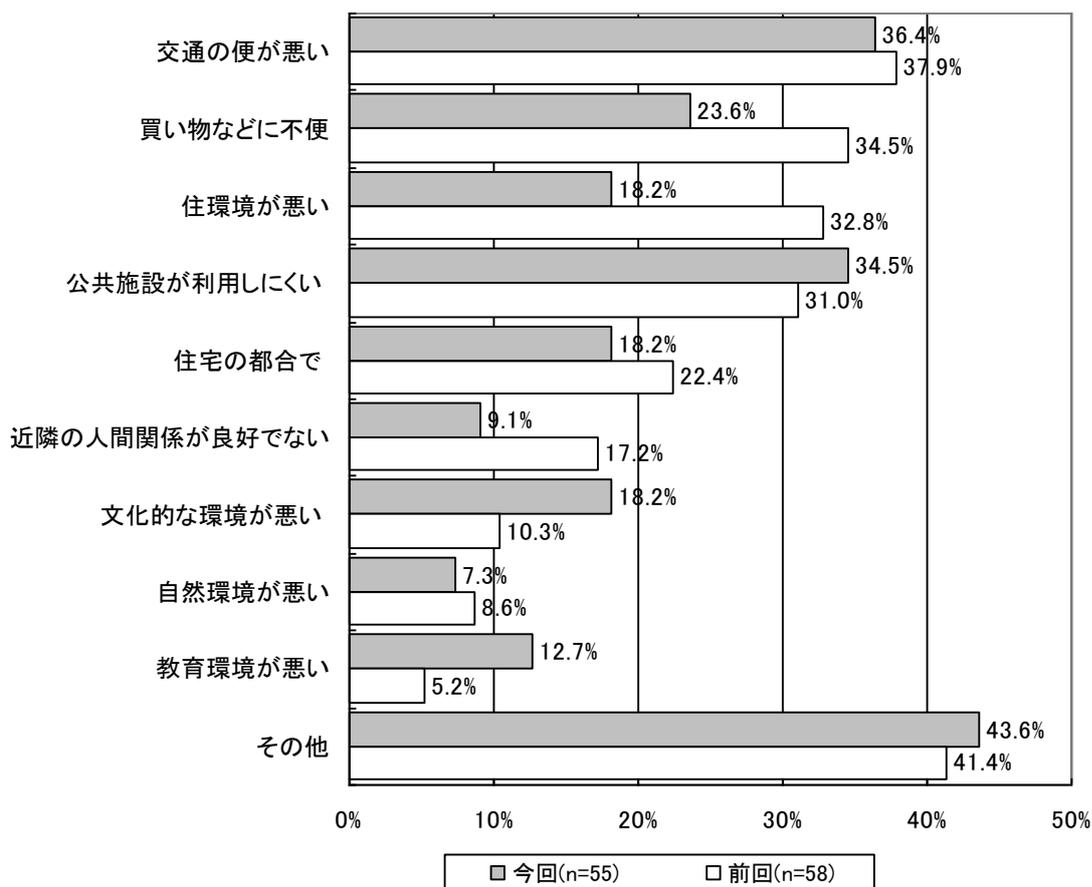
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体(n=1,371)	交通の便が良い 63.3%	住環境が良い 62.8%	自然環境が良い 54.7%	持ち家がある 54.1%	買い物などに便利 48.4%
井の頭(n=110)	自然環境が良い 82.7%	交通の便が良い 73.6%	住環境が良い 70.9%	買い物などに便利 60.9%	持ち家がある 60.9%
牟礼(n=155)	自然環境が良い 61.9%	住環境が良い 61.3%	交通の便が良い 59.4%	買い物などに便利 58.7%	長年住んでいて愛着がある 47.7%
北野(n=52)	自然環境が良い 55.8%	持ち家がある 55.8%	住環境が良い 53.8%	買い物などに便利 42.3%	長年住んでいて愛着がある 40.4%
新川(n=96)	住環境が良い 58.3%	自然環境が良い 52.1%	長年住んでいて愛着がある 47.9%	持ち家がある 47.9%	交通の便が良い 43.8%
中原(n=107)	住環境が良い 59.8%	持ち家がある 59.8%	交通の便が良い 48.6%	長年住んでいて愛着がある 43.9%	自然環境が良い 43.0%
井口(n=94)	住環境が良い 61.7%	持ち家がある 59.6%	交通の便が良い 55.3%	自然環境が良い 53.2%	長年住んでいて愛着がある 51.1%
上連雀(n=195)	交通の便が良い 81.5%	住環境が良い 60.0%	買い物などに便利 56.4%	持ち家がある 51.3%	長年住んでいて愛着がある 45.1%
下連雀(n=353)	交通の便が良い 79.3%	住環境が良い 65.2%	買い物などに便利 56.9%	自然環境が良い 50.7%	持ち家がある 50.4%
野崎(n=44)	住環境が良い 70.5%	持ち家がある 65.9%	交通の便が良い 61.4%	自然環境が良い 56.8%	買い物などに便利 52.3%
大沢(n=88)	自然環境が良い 73.9%	住環境が良い 62.5%	持ち家がある 62.5%	長年住んでいて愛着がある 53.4%	交通の便が良い 30.7%
深大寺(n=69)	住環境が良い 66.7%	持ち家がある 63.8%	交通の便が良い 58.0%	自然環境が良い 39.1%	買い物などに便利 39.1%

(3) 三鷹市からの転出意向の理由

問1-2 三鷹市に住み続けたくないと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

「1」「(1)」問1で「あまり住みたくない」「すぐにでも転出したい」と回答した人に対し、転出意向の理由を把握したところ、「その他」の割合(43.6%)を除くと、「交通の便が悪い」(36.4%)が最も多く、次いで「公共施設が利用しにくい」(34.5%)、「買い物などに不便」(23.6%)の順となっている。前回調査と比較すると、「買い物などに不便」「住環境が悪い」の割合が大きく減少し、「公共施設が利用しにくい」の割合が増加している。その他の理由として、通勤時間が長い、道路騒音、外環道整備等の環境の悪化、自転車環境の未整備(駐輪場の不足、道路の整備)、保育園・幼稚園に入園できない、税金が高い・市のサービスが悪い等の理由が挙げられた。

図表 IV-14 三鷹市からの転出意向の理由(複数回答、n=55)



① 性別

性別では、女性で「交通の便が悪い」が第1位となっており、差がみられる。

図表 IV-15 三鷹市からの転出意向の理由（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
合計(n=55)	その他 43.6%	交通の便が悪い 36.4%	公共施設が利用しにくい 34.5%	買い物などに不便 23.6%	住環境が悪い 18.2%
男性(n=22)	その他 45.5%	住宅のつごうで 31.8%	公共施設が利用しにくい 27.3%	住環境が悪い 22.7%	教育環境が悪い 22.7%
女性(n=33)	交通の便が悪い 48.5%	その他 42.4%	公共施設が利用しにくい 39.4%	買い物などに不便 27.3%	文化的な環境が悪い 18.2%

注) いずれも母数が小さく統計上有意でない点に留意が必要である。

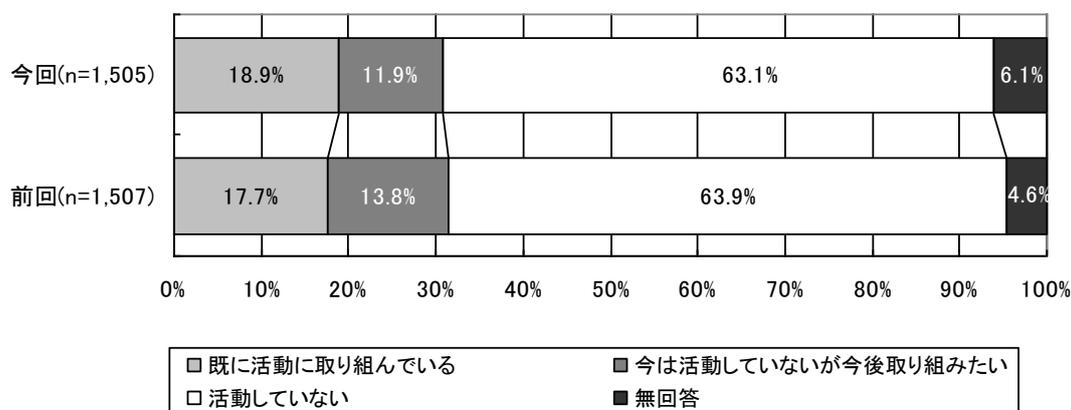
2 地域活動への取り組み

(1) 地域活動への取り組み状況

問2 あなたが地域で行っている活動について、あてはまるものを1つ選び、○印をつけてください。

「活動していない」の割合(63.1%)が最も多く、次いで「既に活動に取り組んでいる」(18.9%)、「今は活動していないが今後取り組みたい」(11.9%)の順となっている。前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

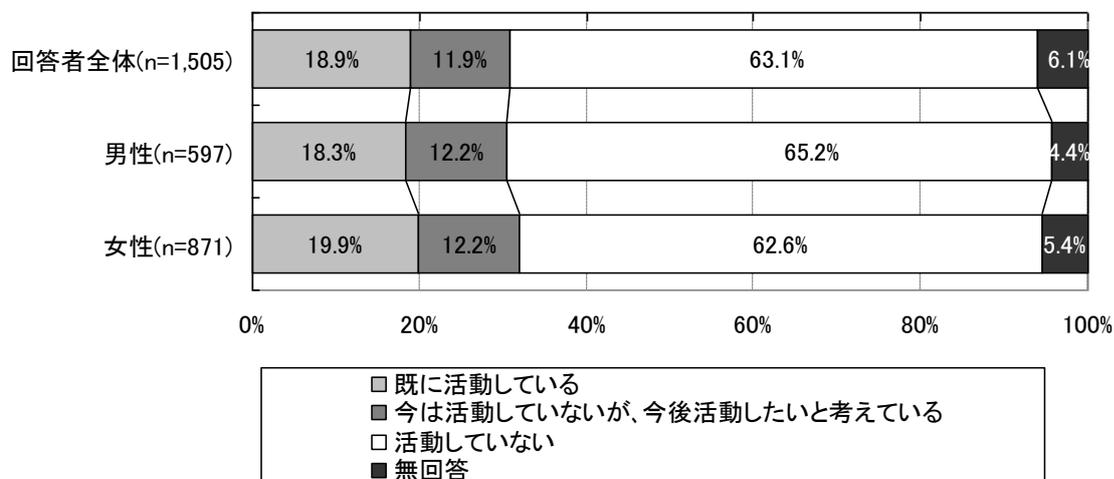
図表 IV-16 地域活動への取り組み状況（単一回答、n=1,505）



① 性別

性別では、ほぼ同様の傾向となっている。

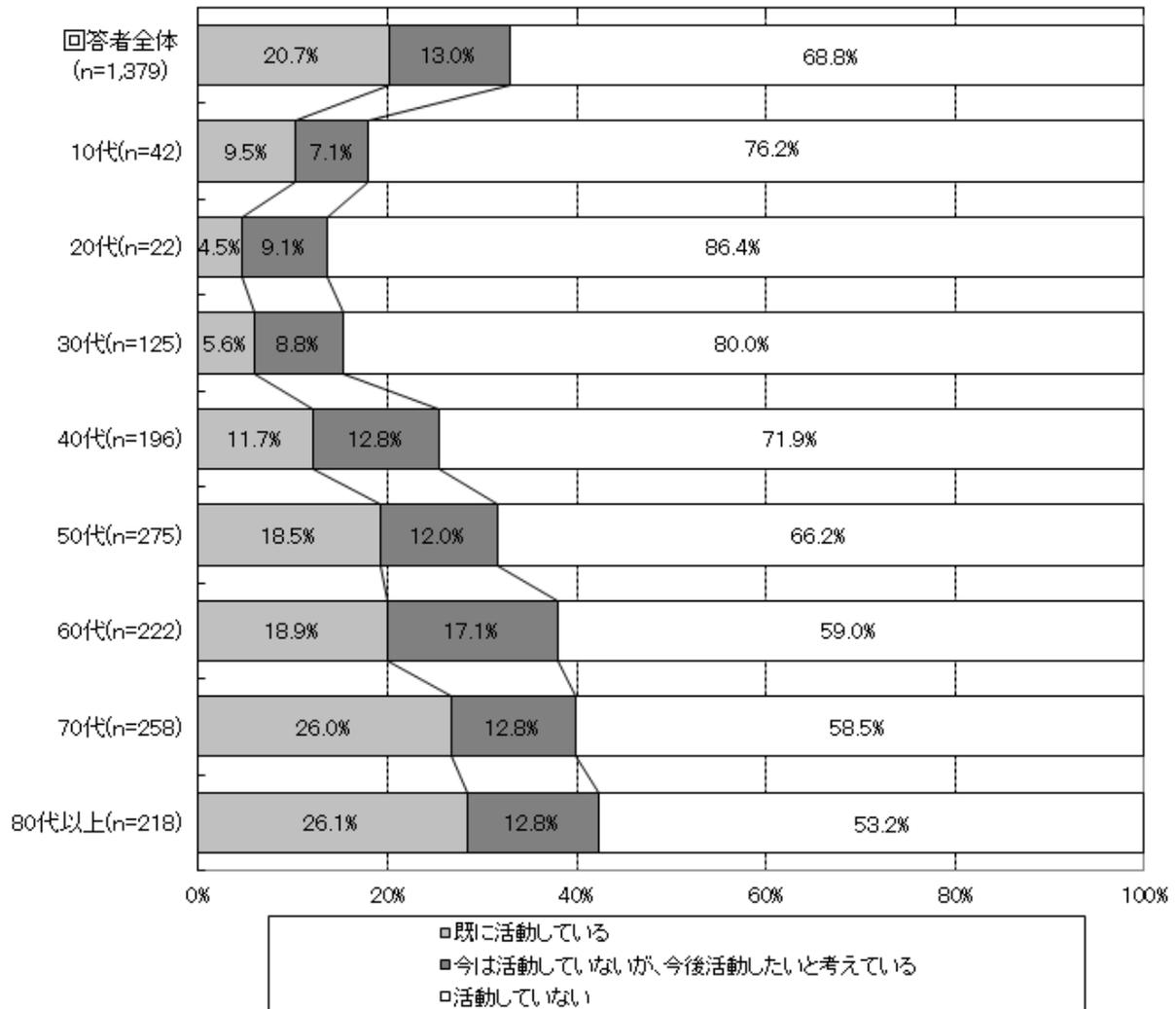
図表 IV-17 地域活動への取り組み状況（性別）



② 年齢別

年齢別では、10代、20代、30代で活動している人の割合が比較的低くなっている。

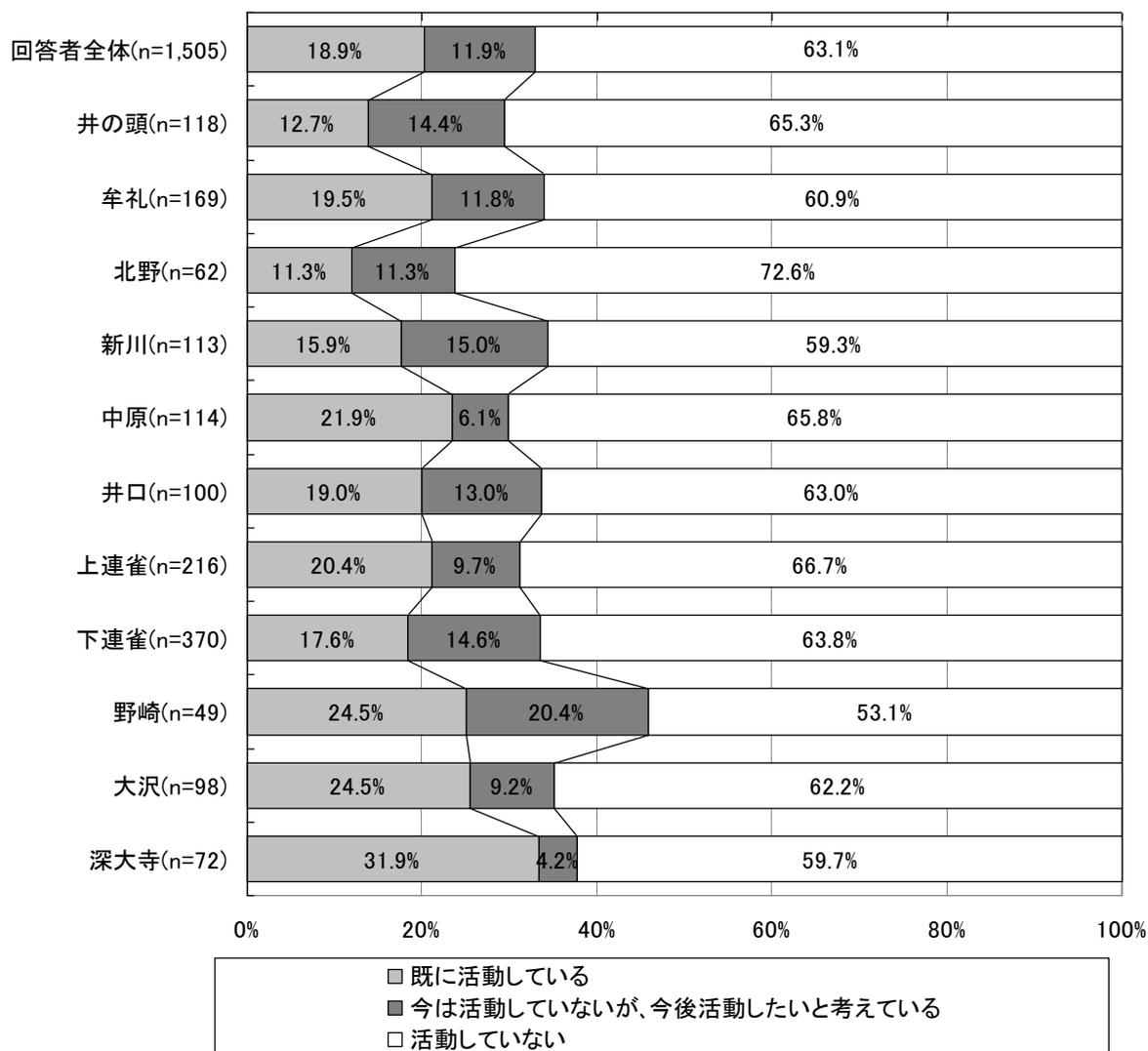
図表 IV-18 地域活動への取り組み状況（年齢別）



③ 地区別

地区別では、深大寺で「既に活動している」とする人の割合が比較的多く、野崎で「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」とする人の割合が比較的多くなっている。

図表 IV-19 地域活動への取り組み状況（地区別）



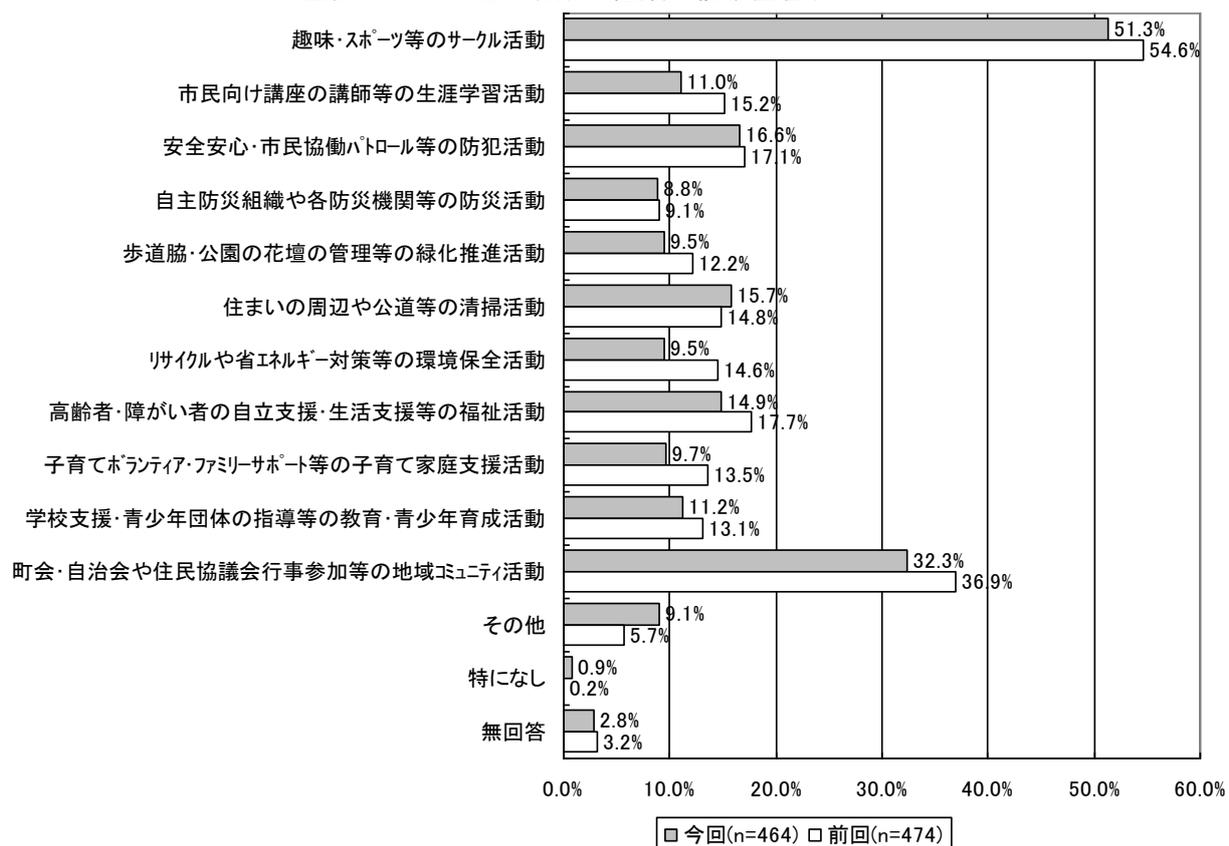
(2) 地域活動の種類

問 2-1 現在取り組んでいる活動、または今後取り組みたいと考えている活動について、あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

「2」「(1)」問2で、「既に活動している」「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した人に対し、現在取り組んでいる活動、または今後取り組みたいと考えている活動について把握したところ、「趣味・スポーツ等のサークル活動」の割合(51.3%)が最も多く、次いで「町会・自治会や住民協議会行事参加等の地域コミュニティ活動」(32.3%)、「安全安心・市民協働パトロール等の防犯活動」(16.6%)、「住まいの周辺や公道等の清掃活動」(15.7%)の順となっている。前回調査と比較すると、いずれの項目においても割合が減少するものが多いなか、「住まいの周辺や公道等の清掃活動」の割合が微増している。

その他の内容として、シルバー人材ボランティア、外国人交流・国際交流ボランティア、ボーイ・ガールスカウト、学校ボランティア等が挙げられた。

図表 IV-20 地域活動の種類 (複数回答、n=464)



① 性別

性別では、第3位以降に差がみられ、男性で「住まいの周辺や公道などの清掃活動」が第3位となっている。

図表 IV-21 地域活動の種類（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体(n=464)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 51.3%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 32.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 16.6%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 15.7%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 14.9%
男性(n=182)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 46.2%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 34.6%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 20.9%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 15.4%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 13.7%
女性(n=279)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 54.5%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 30.1%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 18.6%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 14.7%	子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 14.0%

② 年齢別

年齢別では、ほぼ同様の傾向となっているが、第3位以降で差がみられ、20代で第4位に「子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動」、80代以上で第3位に「高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動」が多くなっている。

図表 IV-22 地域活動の種類（年齢別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体 (n=464)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 51.3%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 32.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 16.6%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 15.7%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 14.9%
10代(n=10)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 70.0%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 20.0%	趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 10.0%	自主防災組織や各防災機関などの防災活動 10.0%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 0.0%
20代(n=18)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 50.0%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 22.2%	趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 16.7%	子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 11.1%	自主防災組織や各防災機関などの防災活動 5.6%
30代(n=48)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 52.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 31.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 22.9%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 18.8%	学校支援や青少年団体の指導などの教育・青少年育成活動 16.7%
40代(n=84)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 40.5%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 25.0%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 23.8%	学校支援や青少年団体の指導などの教育・青少年育成活動 21.4%	趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 10.7%
50代(n=80)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 38.8%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 28.8%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 21.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 20.0%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 20.0%
60代(n=100)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 51.0%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 32.0%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 19.0%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 18.0%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 17.0%
70代(n=85)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 64.7%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 42.4%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 17.6%	歩道脇や公園の花壇の管理などの緑化推進活動 15.3%	その他 15.3%
80代以上(n=38)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 68.4%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 44.7%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 23.7%	その他 15.8%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 13.2%

注) 10代、20代については、母数が小さく統計上有意でない点に留意が必要である。

③ 地区別

地区別では、野崎、牟礼、北野、新川では「高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動」の割合が比較的多いなど、地区別の特徴がみられる。

図表 IV-23 地域活動の種類（地区別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体(n=464)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 51.3%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 32.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 16.6%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 15.7%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 14.9%
井の頭(n=32)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 43.8%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 28.1%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 21.9%	歩道脇や公園の花壇の管理などの緑化推進活動 18.8%	学校支援や青少年団体の指導などの教育・青少年育成活動 18.8%
牟礼(n=53)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 49.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 32.1%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 15.1%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 13.2%	子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 11.3%
北野(n=14)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 57.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 35.7%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 28.6%	歩道脇や公園の花壇の管理などの緑化推進活動 21.4%	リサイクルや省エネルギー対策などの環境保全活動 14.3%
新川(n=35)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 57.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 31.4%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 28.6%	趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 20.0%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 14.3%
中原(n=32)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 46.9%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 46.9%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 28.1%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 21.9%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 18.8%
井口(n=32)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 53.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 31.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 25.0%	自主防災組織や各防災機関などの防災活動 15.6%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 15.6%
上連雀(n=65)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 52.3%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 29.2%	その他 15.4%	趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 13.8%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 13.8%
下連雀(n=119)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 57.1%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 26.9%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 16.8%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 14.3%	子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 10.9%
野崎(n=22)	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 59.1%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 18.2%	子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 18.2%	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 18.2%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 13.6%
大沢(n=33)	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 42.4%	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 39.4%	住まいの周辺や公道などの清掃活動 30.3%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 24.2%	高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 18.2%
深大寺(n=26)	町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 50.0%	趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 34.6%	子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 30.8%	自主防災組織や各防災機関などの防災活動 19.2%	リサイクルや省エネルギー対策などの環境保全活動 19.2%

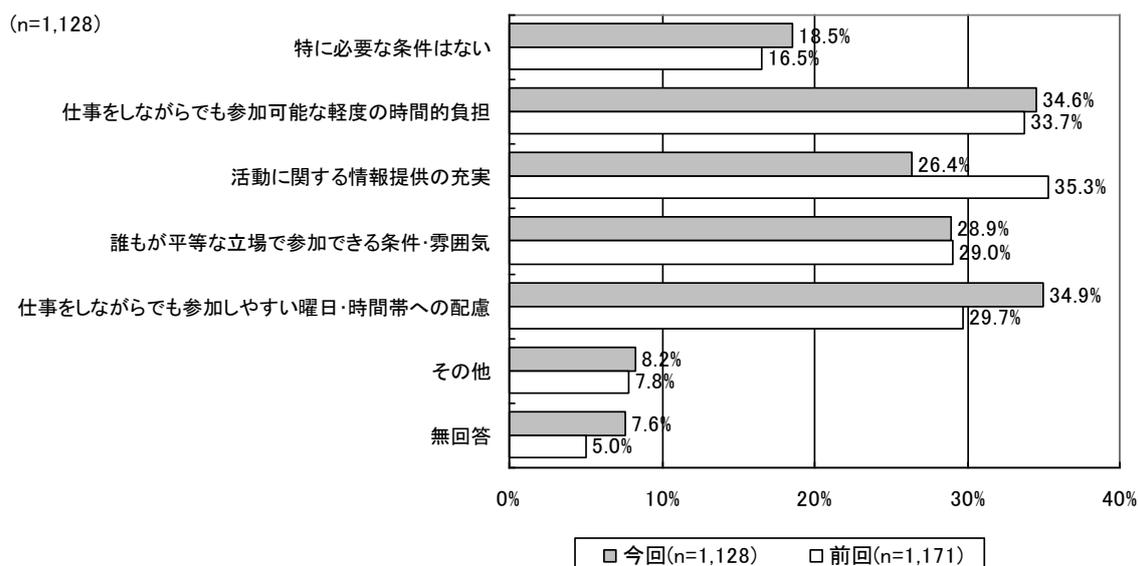
注) 北野、野崎については、母数が小さく統計上有意でない点に留意が必要である。

(3) 地域の活動に参加する条件

問2-2 今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要になりますか。
あてはまるものをすべて選び、○印をつけてください。

「2」「(1)」問2で、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「活動していない」と回答した人に対し、地域の活動に参加する条件について把握したところ、「仕事をしながらでも参加しやすい曜日・時間帯への配慮」の割合(34.9%)が最も多く、次いで「仕事をしながらでも参加可能な軽度の時間的負担」(34.6%)、「誰もが平等な立場で参加できる条件・雰囲気」(28.9%)、「活動に関する情報提供の充実」(26.4%)の順となっている。前回調査と比較すると、「仕事をしながらでも参加しやすい曜日・時間帯への配慮」の割合が増加し、「活動に関する情報提供の充実」の割合が減少している。その他の内容として、「子育て・介護が一段落した後」、「退職後」等のほか、体力的・年齢的に難しい等が挙げられた。

図表 IV-24 今後の活動条件（複数回答、n=1,171）



① 性別

性別では、女性で「活動に関する情報提供の充実」が第1位となっており、傾向に差がみられる。

図表 IV-25 今後の活動条件（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体 (n=1,128)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 34.9%	活動に関する情報提供の充実 34.6%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 28.9%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰囲気 26.4%	特に必要な条件はない 18.5%
男性(n=462)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 36.4%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 32.5%	活動に関する情報提供の充実 31.2%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰囲気 22.9%	特に必要な条件はない 20.8%
女性(n=651)	活動に関する情報提供の充実 37.5%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 34.4%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰囲気 29.3%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 27.0%	特に必要な条件はない 16.3%

② 年齢別

年齢別では、60代で「活動に関する情報提供の充実」、70代で「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」がそれぞれ第1位となっており、実際に活動に従事する世代の意識が反映される結果となっている。

図表 IV-26 今後の活動条件（年齢別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体 (n=1,128)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 34.9%	活動に関する情報提供の充実 34.6%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 28.9%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 26.4%	特に必要な条件はない 18.5%
10代(n=56)	特に必要な条件はない 33.9%	活動に関する情報提供の充実 28.6%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 25.0%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 17.9%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 16.1%
20代(n=111)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 54.1%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 42.3%	活動に関する情報提供の充実 32.4%	特に必要な条件はない 21.6%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 11.7%
30代(n=166)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 51.2%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 43.4%	活動に関する情報提供の充実 41.0%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 24.1%	特に必要な条件はない 11.4%
40代(n=215)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 49.3%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 44.7%	活動に関する情報提供の充実 33.5%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 31.6%	特に必要な条件はない 12.6%
50代(n=169)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 47.3%	活動に関する情報提供の充実 44.4%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 32.5%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 31.4%	特に必要な条件はない 14.2%
60代(n=184)	活動に関する情報提供の充実 39.1%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 29.3%	特に必要な条件はない 21.2%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 19.0%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 16.8%
70代(n=144)	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 29.9%	活動に関する情報提供の充実 28.5%	特に必要な条件はない 23.6%	その他 13.9%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 9.0%
80代以上(n=77)	その他 29.9%	特に必要な条件はない 28.6%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 15.6%	活動に関する情報提供の充実 13.0%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負 担 5.2%

③ 地区別

地区別では、多少の順位の相違はあるものの、全体の傾向に顕著な差はみられない。

図表 IV-27 今後の活動条件（地区別）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
回答者全体 (n=1,128)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 34.9%	活動に関する情報提供の充実 34.6%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 28.9%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 26.4%	特に必要な条件はない 18.5%
井の頭(n=94)	活動に関する情報提供の充実 39.4%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 28.7%	誰もが平等な立場で 参加しやすい曜日や 雰囲気 25.5%	特に必要な条件はない 23.4%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 23.4%
牟礼(n=123)	活動に関する情報提供の充実 36.6%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 35.8%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 26.8%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 26.0%	特に必要な条件はない 17.9%
北野(n=52)	活動に関する情報提供の充実 38.5%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 38.5%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 38.5%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 36.5%	特に必要な条件はない 17.3%
新川(n=84)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 45.2%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 34.5%	活動に関する情報提供の充実 29.8%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 29.8%	特に必要な条件はない 19.0%
中原(n=82)	活動に関する情報提供の充実 31.7%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 29.3%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 26.8%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 22.0%	特に必要な条件はない 18.3%
井口(n=76)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 39.5%	活動に関する情報提供の充実 38.2%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 32.9%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 25.0%	特に必要な条件はない 14.5%
上連雀(n=165)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 33.9%	活動に関する情報提供の充実 30.9%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 29.7%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 26.1%	特に必要な条件はない 18.8%
下連雀(n=290)	活動に関する情報提供の充実 36.2%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 33.1%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 30.7%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 25.9%	特に必要な条件はない 17.2%
野崎(n=36)	活動に関する情報提供の充実 44.4%	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 38.9%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 30.6%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 22.2%	特に必要な条件はない 13.9%
大沢(n=70)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 32.9%	活動に関する情報提供の充実 30.0%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 27.1%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 24.3%	特に必要な条件はない 22.9%
深大寺(n=46)	仕事をしながらでも 参加可能な軽度の負担 43.5%	仕事をしながらでも 参加しやすい曜日や 時間帯への配慮 34.8%	活動に関する情報提供の充実 30.4%	特に必要な条件はない 19.6%	誰もが平等な立場で 参加できる条件や雰 囲気 13.0%

3 市政に対する満足度と今後の取り組みの重要性

問3 三鷹市では、第4次三鷹市基本計画（平成24年3月策定）で、市政の重点課題として9つのプロジェクトを設定し、取り組みを進めてきました。これまで4年間の取り組みに対する評価（満足度）と引き続き重点的に取り組む必要性（重要度）について、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図表 IV-28 三鷹市の施策の満足度・取り組みの重要性の回答表イメージ（抜粋）

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
1. 成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	
概要	既存の社会資本を有効に使いつつ、環境と調和を図りながら、ハード・ソフト両面における「都市の質的向上」を図ることで、命と暮らしを守るまちづくりをめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の完成に向けた「新川防災公園・多機能複合施設（仮称）」の建設着手 公会堂のリニューアルオープンと公会堂別館の建替え、コミュニティ・センターの耐震補強の実施 第三小学校の建替えなど、全小・中学校校舎耐震化の完了を含む教育施設の更新・整備 クリーンプラザふじみ（ごみ処理施設）の稼働

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

2. ともに支えあう地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	
概要	高齢者、子育て世代、障がい者等、すべての市民が地域において健康で心ゆたかに生活を営めるような、ともに支えあう地域社会をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 町会・自治会の地域活動の支援、町会・自治会とNPO等との協働を推進する、「がんばる地域応援プロジェクト」の実施 市民による共助の仕組みである「地域ケアネットワーク」の全市展開（平成27年2月予定） 見守りネットワーク事業の推進（平成27年1月末現在見守り協力団体数 28団体） コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

3. 危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	
概要	東日本大震災の教訓を踏まえ、自然災害から感染症に至るまで、あらゆる危機から市民の命と暮らしを守り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座、下連雀六丁目防災広場の整備など自助・共助の防災力の強化 防災関係機関連携訓練の実施などによる公助の連携強化 地域と連携した防犯カメラの設置、安全安心市民協働パトロール 新型インフルエンザなどの感染症に対する危機管理体制の整備 雨水管（下水道）の設置など都市型水害対策の推進

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

(1) 評価方法

施策の各項目について、満足度（現在の状況に対する評価）と重要度（施策の重要性）について、数値化して評価を行った。なお、数値化にあたっては、以下に示す方法で実施した。

* 数値化の方法

【満足度】

- 各施策項目について、無回答を除外して回答率を再計算したうえで、「満足」5点、「まあ満足」4点、「ふつう」3点、「やや不満」2点、「不満」1点として、各回答率を乗じた値の合計値を各項目の「スコア」として用いた。
- 算出したスコア全体の中央値を平均満足度とした。

【重要度】

- 各施策項目について、無回答を除外して回答率を再計算したうえで、「重要」5点、「ふつう」3点、「重要ではない」1点として、各回答率を乗じた値の合計値を各項目の「スコア」として用いた。

(2) 施策についての評価

① 施策の満足度

回答者全体では、「成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト」のスコア(3.44)が最も高く、次いで「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」(3.35)、「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」(3.31)、「持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト」(3.28)、「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」(3.27)の順となっている。

地域活動者では、「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」及び「成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト」のスコア(3.57)が最も高く、次いで、「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」(3.53)、「ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」(3.48)、「持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト」(3.39)の順となっている。

図表 IV-29 三鷹市政の重点課題プロジェクトの満足度（回答者全体）

順位	プロジェクト名称	スコア
1位	成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.44
2位	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	3.35
3位	危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	3.31
4位	持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.28
5位	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.27
6位	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.22
	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	
8位	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.19
9位	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	3.09

図表 IV-30 三鷹市政の重点課題プロジェクトの満足度（地域活動者）

順位	プロジェクト名称	スコア
1位	成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.57
	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	
3位	危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	3.53
4位	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.35
5位	持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.39
6位	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	3.35
7位	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.33
8位	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.31
9位	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	3.26

1) 性別

性別では、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-31 三鷹市政の重点課題プロジェクトの満足度（性別）

	男性	女性
成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.41	3.47
ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.23	3.21
危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	3.29	3.31
いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	3.22	3.22
いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	3.38	3.33
市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.17	3.19
持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.27	3.28
まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.24	3.28
誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	3.10	3.07

2) 年齢別

年齢別では、10～40代の比較的若い世代で「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」の満足度が比較的高い。

図表 IV-32 三鷹市政の重点課題プロジェクトの満足度（年齢別）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
成熟した都市の質的向上をめざす、 都市再生プロジェクト	3.62	3.45	3.44	3.29	3.36	3.46	3.61	3.60
ともに支え合う地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	3.29	3.29	3.19	3.12	3.08	3.23	3.33	3.51
危機管理に備える防災都市をつくる、 危機管理プロジェクト	3.48	3.45	4.31	3.19	3.15	3.30	3.42	3.52
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	3.25	3.32	3.16	3.01	3.14	3.27	3.47	3.49
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	3.44	3.48	3.28	3.28	3.20	3.36	3.50	3.53
市民の命、暮らしを守る、 セーフティーネットプロジェクト	3.37	3.33	3.18	3.10	3.05	3.17	3.32	3.26
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブル都市プロジェクト	3.43	3.44	3.22	3.11	3.12	3.29	3.49	3.47
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.61	3.45	3.28	3.19	3.06	3.23	3.32	3.48
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	3.58	3.24	3.02	2.90	2.82	3.13	3.30	3.39

3) 地区別

地区別では、井の頭、北野、新川では「ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」、新川、井口、上連雀、下連雀、大沢では「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」の満足度が比較的高い。また、牟礼、井口、上連雀、野崎では「持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト」、井の頭、牟礼、中原、深大寺では「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」の満足度が比較的高い。

図表 IV-33 三鷹市政の重点課題プロジェクトの満足度（地区別）

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.34	3.55	3.42	3.53	3.54	3.40	3.38	3.46	3.53	3.37	3.38
ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.40	3.22	3.25	3.46	3.12	3.09	3.09	3.26	3.23	3.10	3.26
危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	3.32	3.36	3.19	3.46	3.19	3.29	3.24	3.34	3.50	3.26	3.36
いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	3.39	3.24	3.12	3.22	3.18	3.15	3.11	3.28	3.31	3.19	3.21
いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	3.43	3.38	3.38	3.39	3.34	3.22	3.24	3.39	3.54	3.29	3.45
市民の命、暮らしを守る、セーフティネットプロジェクト	3.15	3.17	3.24	3.13	3.22	3.12	3.15	3.23	3.33	3.09	3.34
持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.33	3.40	3.04	3.28	3.27	3.22	3.24	3.30	3.51	3.12	3.31
まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.45	3.38	3.09	3.40	3.35	3.04	3.21	3.24	3.21	3.14	3.37
誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	3.09	3.10	2.98	3.20	3.18	2.99	3.05	3.09	3.23	2.98	3.17

② 施策の重要度

回答者全体では、「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」（4.43）が最も高く、次いで「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」（4.37）、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」（4.29）、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」（4.27）、「ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」（4.05）の順となっている。

地域活動者では、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」（4.39）が最も高く、次いで、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」（4.37）、「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」（4.33）、「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」（4.30）、「ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」（4.22）の順となっている。

図表 IV-34 三鷹市政の重点課題プロジェクトの重要度（回答者全体）

順位	プロジェクト名称	スコア
1位	危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	4.43
2位	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	4.37
3位	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	4.29
4位	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	4.27
5位	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	4.05
6位	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	4.02
7位	持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.94
8位	成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.92
9位	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.76

図表 IV-35 三鷹市政の重点課題プロジェクトの重要度（地域活動者）

順位	プロジェクト名称	スコア
1位	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	4.39
2位	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	4.37
3位	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	4.33
4位	危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	4.30
5位	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	4.22
6位	成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	4.19
7位	持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.10
8位	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.05
9位	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.75

1) 性別

性別では、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-36 三鷹市政の重点課題プロジェクトの重要度（性別）

	男性	女性
成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.87	3.97
ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.93	4.14
危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	4.34	4.50
いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	4.23	4.34
いつまでも元気に暮らせる、健康長寿プロジェクト	4.27	4.44
市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.94	4.09
持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	3.89	3.99
まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.88	3.68
誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	4.24	4.29

2) 年齢別

年齢別では、顕著な傾向の差はみられないが、20代、30代、40代、60代の幅広い世代で「生き生きと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」の、10代、30代、40代、50代、70代で「誰もが安全で快適に移動できる」の重要度が比較的高くなっている。

図表 IV-37 三鷹市政の重点課題プロジェクトの重要度（年齢別）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上
成熟した都市の質的向上をめざす、 都市再生プロジェクト	3.79	3.92	3.95	3.79	3.79	3.99	4.11	4.18
ともに支え合う地域社会を生み出す、 コミュニティ創生プロジェクト	3.57	3.99	4.07	4.03	3.88	4.13	4.30	4.25
危機管理に備える防災都市をつくる、 危機管理プロジェクト	4.21	4.61	4.45	4.38	4.36	4.53	4.42	4.33
いきいきと子どもが輝く、 子ども・子育て支援プロジェクト	2.49	4.43	4.61	4.25	4.10	4.33	4.29	4.07
いつまでも元気に暮らせる、 健康長寿社会プロジェクト	3.82	4.25	4.30	4.32	4.43	4.48	4.51	4.42
市民の命、暮らしを守る、 セーフティーネットプロジェクト	3.43	3.93	3.86	4.05	4.00	4.11	4.23	4.30
持続可能な都市環境をめざす、 サステナブル都市プロジェクト	3.53	3.96	3.86	3.76	3.78	4.11	4.22	4.30
まちの活力、にぎわいをもたらす、 地域活性化プロジェクト	3.67	3.78	3.77	3.52	3.63	3.90	3.95	4.08
誰もが安全で快適に移動できる、 都市交通安全プロジェクト	4.05	4.14	4.31	4.32	4.24	4.28	4.35	4.28

3) 地区別

地区別では、井の頭、新川、中原、上連雀、下連雀、野崎、大沢で「生き生きと子どもが輝く、子ども子育て支援プロジェクト」が、牟礼、北野、中原、井口、下連雀、野崎、深大寺で「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」の重要度が高い。また、北野で「市民の命、暮らしを守るセーフティーネットプロジェクト」の重要度が高くなっている。

図表 IV-38 三鷹市政の重点課題プロジェクトの重要度（地区別）

	井の頭	牟礼	北野	新川	中原	井口	上連雀	下連雀	野崎	大沢	深大寺
成熟した都市の質的向上をめざす、都市再生プロジェクト	3.93	4.09	3.98	4.03	3.94	3.37	3.92	3.96	3.68	3.80	3.75
ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	3.97	4.17	4.09	4.09	3.97	3.94	3.95	4.12	4.00	4.05	3.79
危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	4.60	4.46	4.22	4.55	4.27	4.21	4.49	4.44	4.38	4.36	4.28
いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	4.39	4.32	4.22	4.43	4.26	3.91	4.31	4.28	4.38	4.22	4.17
いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	4.60	4.40	4.50	4.39	4.49	4.10	4.23	4.36	4.37	4.16	4.37
市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	3.99	4.01	4.26	4.03	4.06	3.63	4.06	4.06	3.80	4.00	3.92
持続可能な都市環境をめざす、サステナブル都市プロジェクト	4.07	4.04	4.05	3.97	3.87	3.47	3.97	3.96	3.52	3.93	3.85
まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	3.79	3.74	3.78	3.69	3.87	3.49	3.79	3.83	3.29	3.74	3.61
誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	4.16	4.39	4.30	4.38	4.39	4.20	4.18	4.28	4.19	3.94	4.38

③ 施策の総合分析

重要度でいずれも5位以内となっている「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」(第3位)(4.29)、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」(第4位)(4.27)、「ともに支え合う地域を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト」(第5位)(4.05)の3つのプロジェクトについて、満足度をみると、第6位、第9位、第7位と総じて満足度が下位に位置しており、これらに重点的に取り組んでいくことが求められる。

年齢別では、多くの年代で重要度の高い「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」の満足度が下位に位置しており、これらに重点的に取り組む必要がある。

地区別では、全体として、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」の満足度が下位に位置しており、これらに重点的に取り組む必要がある。また、井の頭、牟礼では「危機に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト」、北野では「市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト」が、それぞれ重要度は高いものの満足度は低く、重点的な対策が求められる。

一方、地域活動者では、重要度でいずれも上位2位である「誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト」(第1位)(4.39)、「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」(第2位)(4.37)については、満足度がそれぞれ9位、6位と下位に位置しており、重点的に取り組みが求められている。

4 市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

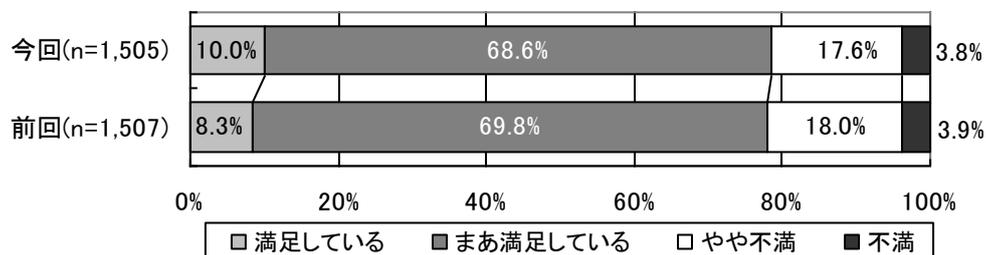
(1) 三鷹市政への満足度

問4 三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、○印をつけてください。

三鷹市政への満足度は、「まあ満足している」の割合（68.6%）が最も多く、次いで「やや不満」（17.6%）、「満足している」（10.0%）の順となっている。「満足している」と「まあ満足している」の割合の合計値では約8割を占めている。

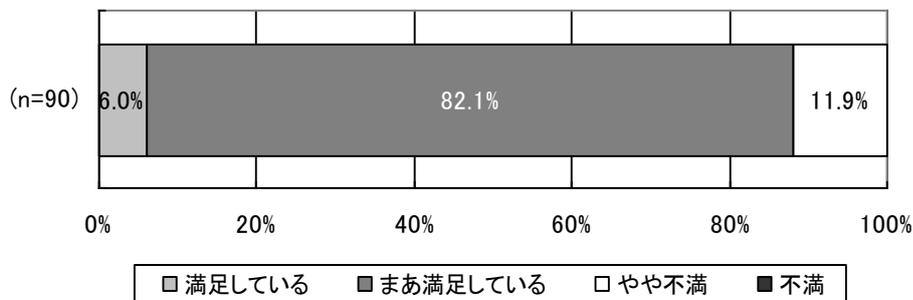
また、前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-39 三鷹市政への満足度（単一回答、n=1,505）



注) 各項目の割合は無回答を除いた回答者数の合計で割り戻した値であることに留意が必要。

図表 IV-40 三鷹市政への満足度（地域活動者）（単一回答、n=90）



① 性別

性別では、地域活動者も含め、全体とほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-41 三鷹市政への満足度（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	64.1%	16.5%	9.4%	3.5%
男性(n=597)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	64.5%	17.4%	9.0%	3.9%
女性(n=871)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	64.5%	15.6%	9.3%	3.4%

図表 IV-42 三鷹市政への満足度（地域活動者）（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
合計(n=90)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	76.7%	11.1%	5.6%	0.0%
男性(n=33)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	72.7%	21.2%	6.1%	0.0%
女性(n=52)	まあ満足している	やや不満	満足している	不満
	82.7%	5.8%	3.8%	0.0%

② 年齢別

年齢別では、第2位以降の傾向に差がみられ、10代、20代、80代以上で第2位が「満足している」となっている。

図表 IV-43 三鷹市政への満足度（年齢別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ満足している 64.1%	やや不満 16.5%	満足している 9.4%	不満 3.5%
10代(n=64)	まあ満足している 64.1%	満足している 12.5%	やや不満 9.4%	不満 3.1%
20代(n=125)	まあ満足している 69.6%	満足している 14.4%	やや不満 8.8%	不満 2.4%
30代(n=196)	まあ満足している 65.8%	やや不満 17.9%	満足している 9.2%	不満 3.1%
40代(n=275)	まあ満足している 63.6%	やや不満 20.7%	満足している 6.5%	不満 4.4%
50代(n=222)	まあ満足している 60.8%	やや不満 20.3%	満足している 9.0%	不満 6.3%
60代(n=258)	まあ満足している 67.1%	やや不満 17.4%	満足している 7.0%	不満 2.7%
70代(n=218)	まあ満足している 60.1%	やや不満 16.1%	満足している 10.6%	不満 3.7%
80代以上(n=126)	まあ満足している 66.7%	満足している 11.1%	やや不満 7.9%	不満 0.8%

③ 地区別

地区別では、第2位以降の傾向に差がみられ、深大寺で第2位が「満足している」となっている。

図表 IV-44 三鷹市政への満足度（地区別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ満足している 64.1%	やや不満 16.5%	満足している 9.4%	不満 3.5%
井の頭(n=118)	まあ満足している 67.8%	やや不満 17.8%	満足している 8.5%	不満 1.7%
牟礼(n=169)	まあ満足している 60.9%	やや不満 14.8%	満足している 10.7%	不満 3.0%
北野(n=62)	まあ満足している 61.3%	やや不満 21.0%	満足している 4.8%	不満 3.2%
新川(n=113)	まあ満足している 64.6%	やや不満 15.9%	満足している 7.1%	不満 3.5%
中原(n=114)	まあ満足している 64.0%	やや不満 20.2%	満足している 6.1%	不満 4.4%
井口(n=100)	まあ満足している 65.0%	やや不満 20.0%	満足している 6.0%	不満 3.0%
上連雀(n=216)	まあ満足している 58.8%	やや不満 19.4%	満足している 10.6%	不満 6.0%
下連雀(n=370)	まあ満足している 68.4%	やや不満 14.1%	満足している 10.0%	不満 2.2%
野崎(n=49)	まあ満足している 67.3%	やや不満 16.3%	満足している 12.2%	不満 0.0%
大沢(n=98)	まあ満足している 62.2%	やや不満 15.3%	満足している 10.2%	不満 8.2%
深大寺(n=72)	まあ満足している 66.7%	満足している 12.5%	やや不満 9.7%	不満 4.2%

(2) 三鷹市政への満足度の理由

問5 そのように思う理由をご記入ください。（自由回答）

① 満足している理由

問4で「満足している」、「まあ満足している」と回答した人がそう考える理由について、自由記入による回答内容結果を類似意識ごとに整理すると下表の通りであり、市の政策全般がよいが最も多く、次いで三鷹市の職員の対応・雰囲気・業務への姿勢がよい、住環境が良好である、安心安全な環境が整備されている、広報・広聴が充実している、子育て支援環境が充実している、その他行政サービス全般（福祉・医療など）が充実しているなどを指摘する意識が多く見られた。

図表 IV-45 三鷹市政に満足している理由（自由記入）

内容	類似回答件数
市の政策全般がよい	53
三鷹市の職員の対応・雰囲気・業務への姿勢がよい	47
住環境が良好である	39
安心安全な環境(犯罪が少ない)	26
広報・広聴が充実している	18
子育て支援環境の充実	17
行政サービス(福祉・医療など)が充実している	16
緑や自然環境が豊かである	15
道路整備への取り組みがよい	14
公共交通環境(電車・バス)が充実している	14
市街地環境が良く整備されているから	8
地域コミュニティが良好である(地域交流・イベント開催)	8
芸術文化環境が充実している	8
市民参加、市民と市の協働が進んでいる	8
公共施設が充実している	6
教育環境が充実している	6
適切な財政運営や市政・財政の透明化がなされている	5
高齢者支援が充実している	5
産業の振興がなされている	4
情報通信施策が充実している	4
その他(または不明)	6
全般に満足している	223

② 不満な理由

問4で「やや不満」、「不満」と回答した人がそう考える理由について自由記入による回答内容を得た結果を類似意識ごとに整理すると下表の通りであり、都市基盤整備のあり方が不十分（道路整備・低未利用地が有効活用されていないなど）が最も多く、次いで子育て支援環境が不十分（待機児童・子育て環境・医療費等）、公共施設の数・利便性の不足（駐輪場を含む）、市の政策全般が悪い、広報・広聴が不十分などを指摘する意識が多く見られた。

図表 IV-46 三鷹市政に不満な理由（自由記入）

内容	類似回答件数
都市基盤整備のあり方が不十分（道路整備・低未利用地が有効活用されていないなど）	47
子育て支援環境が不十分（待機児童・子育て環境・医療費）	37
公共施設の数・利便性の不足（駐輪場を含む）	36
行政サービス全般（健康作り・福祉・医療など）が充実していない	30
市の政策全般が悪い	25
広報・広聴が不十分	25
三鷹市の職員の対応・雰囲気・業務への姿勢が悪い	19
行財政の改革が不十分、適切な運営がなされていない	19
公共交通が充実していない	15
産業や経済の振興が不十分	14
市税が高い	13
安心安全のまちづくりや環境整備が不十分	12
市民との協働の姿勢が不十分	12
高齢者支援が不十分	11
芸術文化環境が不十分	11
緑や自然環境が不十分	9
教育環境が良くない	8
地域コミュニティに関する取組が不十分	6
住環境が良くない	5
情報通信施策が不十分	2
その他（または不明）	9
全般に不満	14

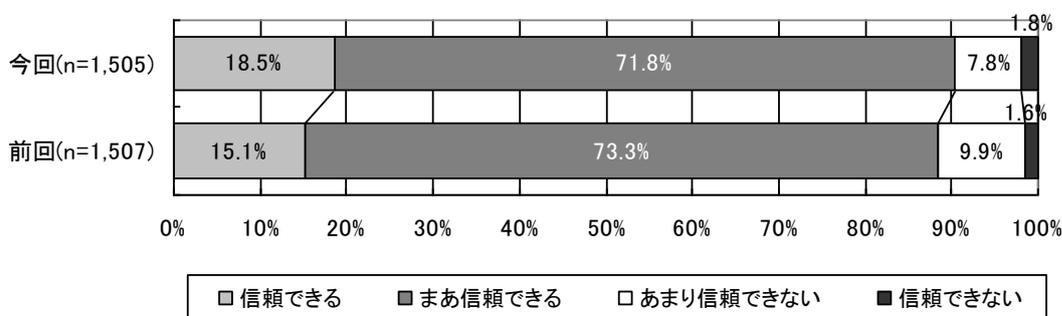
(3) 三鷹市役所の行政機関としての信頼度

問6 三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つだけ選び、○印をつけてください。

回答者全体では「まあ信頼できる」の割合(71.8%)が最も多く、次いで「信頼できる」(18.5%)、「あまり信頼できない」(7.8%)の順となっている。「信頼できる」と「まあ信頼できる」の割合の合計値では約8割を占めている。

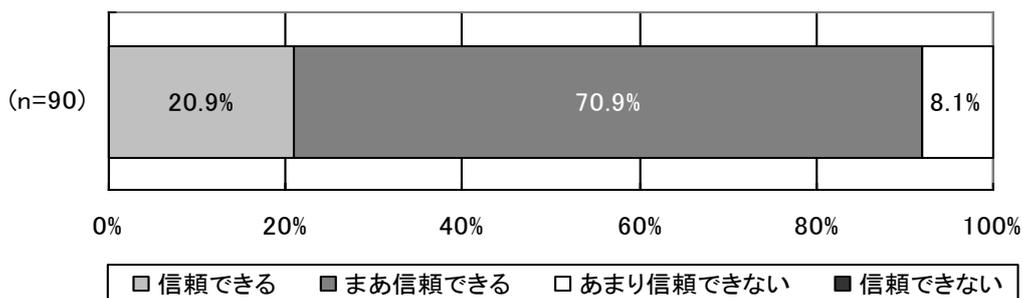
また、前回調査と比較すると、「信頼できる」と「まあ信頼できる」の割合の合計値はわずかながら増加している。

図表 IV-47 三鷹市役所への信頼度 (単一回答、n=1,505)



注) 各項目の割合は無回答を除いた回答者数の合計で割り戻した値であることに留意が必要。

図表 IV-48 三鷹市役所への信頼度 (地域活動者) (単一回答、n=90)



① 性別

性別では、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-49 三鷹市役所への信頼度（性別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ信頼できる	信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない
	65.4%	16.9%	7.1%	1.7%
男性(n=597)	まあ信頼できる	信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない
	65.0%	19.1%	6.5%	1.8%
女性(n=871)	まあ信頼できる	信頼できる	あまり信頼できない	信頼できない
	65.3%	15.8%	7.3%	1.6%

② 年齢別

年齢別では、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-5045 三鷹市役所への信頼度（年齢別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ信頼できる 65.4%	信頼できる 16.9%	あまり信頼できない 7.1%	信頼できない 1.7%
10代(n=64)	まあ信頼できる 54.7%	信頼できる 21.9%	あまり信頼できない 4.7%	信頼できない 3.1%
20代(n=125)	まあ信頼できる 68.8%	信頼できる 20.8%	あまり信頼できない 4.0%	信頼できない 0.8%
30代(n=196)	まあ信頼できる 70.4%	信頼できる 15.3%	あまり信頼できない 7.1%	信頼できない 1.5%
40代(n=275)	まあ信頼できる 69.8%	信頼できる 14.2%	あまり信頼できない 9.8%	信頼できない 1.5%
50代(n=222)	まあ信頼できる 67.1%	信頼できる 14.0%	あまり信頼できない 9.5%	信頼できない 2.7%
60代(n=258)	まあ信頼できる 66.7%	信頼できる 15.1%	あまり信頼できない 7.4%	信頼できない 1.2%
70代(n=218)	まあ信頼できる 58.3%	信頼できる 19.7%	あまり信頼できない 6.0%	信頼できない 2.3%
80代以上(n=126)	まあ信頼できる 55.6%	信頼できる 24.6%	あまり信頼できない 2.4%	信頼できない 0.8%

③ 地区別

地区別では、ほぼ同様の傾向となっている。

図表 IV-51 三鷹市役所への信頼度（地区別）

	第1位	第2位	第3位	第4位
回答者全体(n=1,505)	まあ信頼できる 65.4%	信頼できる 16.9%	あまり信頼できない 7.1%	信頼できない 1.7%
井の頭(n=118)	まあ信頼できる 65.3%	信頼できる 19.5%	あまり信頼できない 3.4%	信頼できない 1.7%
牟礼(n=169)	まあ信頼できる 60.4%	信頼できる 22.5%	あまり信頼できない 5.9%	信頼できない 1.2%
北野(n=62)	まあ信頼できる 66.1%	信頼できる 12.9%	あまり信頼できない 11.3%	信頼できない 1.6%
新川(n=113)	まあ信頼できる 61.1%	信頼できる 17.7%	あまり信頼できない 5.3%	信頼できない 1.8%
中原(n=114)	まあ信頼できる 71.1%	信頼できる 12.3%	あまり信頼できない 6.1%	信頼できない 2.6%
井口(n=100)	まあ信頼できる 68.0%	信頼できる 14.0%	あまり信頼できない 9.0%	信頼できない 0.0%
上連雀(n=216)	まあ信頼できる 67.6%	信頼できる 13.9%	あまり信頼できない 7.9%	信頼できない 3.2%
下連雀(n=370)	まあ信頼できる 67.3%	信頼できる 17.3%	あまり信頼できない 6.2%	信頼できない 0.8%
野崎(n=49)	まあ信頼できる 69.4%	信頼できる 16.3%	あまり信頼できない 8.2%	信頼できない 0.0%
大沢(n=98)	まあ信頼できる 57.1%	信頼できる 23.5%	あまり信頼できない 10.2%	信頼できない 3.1%
深大寺(n=72)	まあ信頼できる 62.5%	信頼できる 15.3%	あまり信頼できない 9.7%	信頼できない 2.8%

(4) 三鷹市役所に期待すること

問7 三鷹市役所に期待すること、ご意識・ご要望等がございましたらご記入ください。
(自由回答)

三鷹市役所に期待することについて自由記入による回答内容を得た結果を類似意識ごとに整理すると下表の通りであり、公共施設の充実・利便性の向上が最も多く、次いで子育て支援の充実、道路・道路環境の整備、職員（市長・市議を含む）の対応・雰囲気・業務への姿勢の改善、安全安心なまちづくり（防犯、防災、交通マナーの見直し等）、高齢者支援サービスの向上（介護・健康寿命延伸）、自然環境、市街地環境の保全、整備（自然、景観、衛生、バリアフリーなど）などを指摘する意識が多くみられた。

図表 IV-52 三鷹市役所に期待すること（自由記入）

内容	類似回答件数
公共施設の充実・利便性の向上	67
子育て支援の充実	59
道路・道路環境の整備	58
職員（市長・市議含む）の対応・雰囲気・業務への姿勢の改善	57
安全安心なまちづくり（防犯、防災、交通マナーの見直し等）	46
高齢者支援サービスの向上（介護・健康寿命延伸）	44
自然環境、市街地環境の保全、整備（自然、景観、衛生、バリアフリーなど）	44
公共交通機関の充実	34
広報・広聴の充実	33
行財政運営の改善（組織改革、人材育成を含む）	27
窓口サービスの充実（時間・場所拡大等）	26
開発やインフラ整備の見直し（外環道、開発区域の限定改善等）	22
教育の充実、改善（学校耐震化、小・中一貫化など）	19
福祉（障がい者・生活保護者）サービス・支援の推進	17
健康増進・スポーツの活性化	17
駐輪場の整備、自転車の適正利用	16
ゴミ回収方法の改善、リサイクル	15
医療の充実（健診、がん予防対策、医療選択枠拡大等）	14
地域交流（コミュニティ）の改善・促進	13
自転車の適正利用の促進	13
市政・財政の透明化	12
市民ニーズの施策への反映	12
産業振興、経済活性化	9
商業施設の充実（買物不便の解消）	9
市税の減税	8
芸術文化の振興	8
行政サービス全般の充実	7
市民との協働の推進	7
国・他自治体との連携	7
喫煙対策の推進	6
市議・職員の定数削減や給与の見直し	5
生活保護制度の見直し	5
多様な人々が活躍できる環境の推進（女性、外国人、マイノリティ）	5
市政の優先順位の明確化	4
若者支援の推進	4
長期的な視点にたった政策形成	2
その他	28

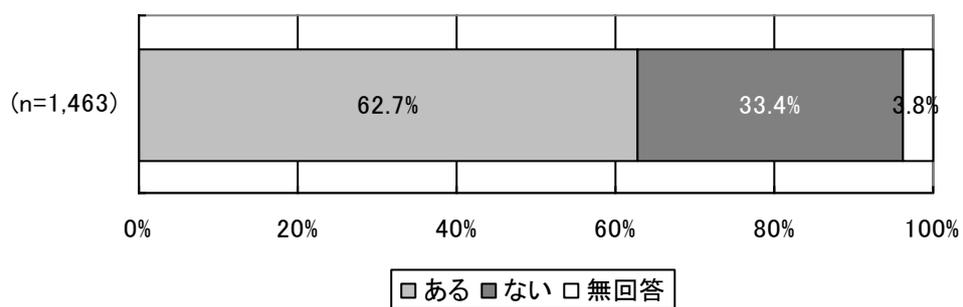
5 スポーツに関する取り組み

(1) 1年間のスポーツの取り組み状況

問8 あなたは、この1年間で何らかのスポーツをしたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「スポーツをしたことがある」の割合（62.7%）が最も多く、「スポーツをしたことがない」は33.4%に留まる。

図表 IV-53 1年間のスポーツの取り組み状況（単一回答、n=1,463）



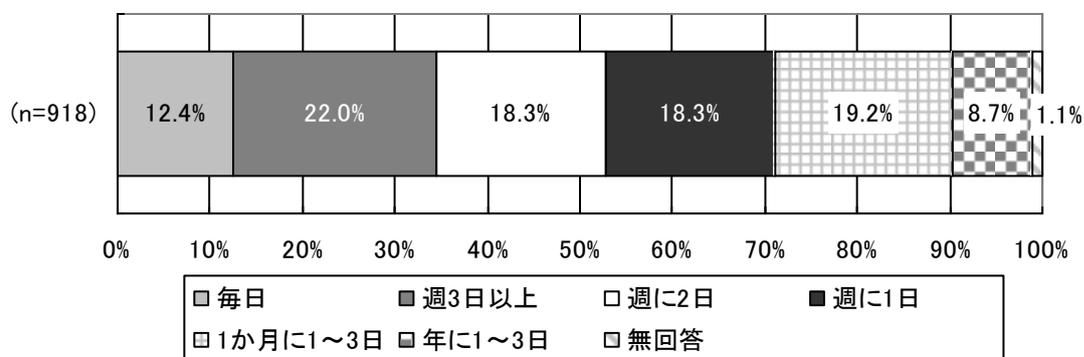
注) n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

(2) スポーツを行う頻度

問8-1 あなたはどのくらいの頻度でスポーツを行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「5」「(1)」問8で「スポーツをしたことがある」と回答した人に対し、その頻度を把握したところ、「週3日以上」の割合(22.0%)が最も多く、次いで、「1か月に1~3日」(19.2%)、「週に2日」「週に1日」(18.3%)、「毎日」(12.4%)、「年に1~3日」(8.7%)の順となっている。

図表 IV-54 スポーツを行う頻度(単一回答、n=918)



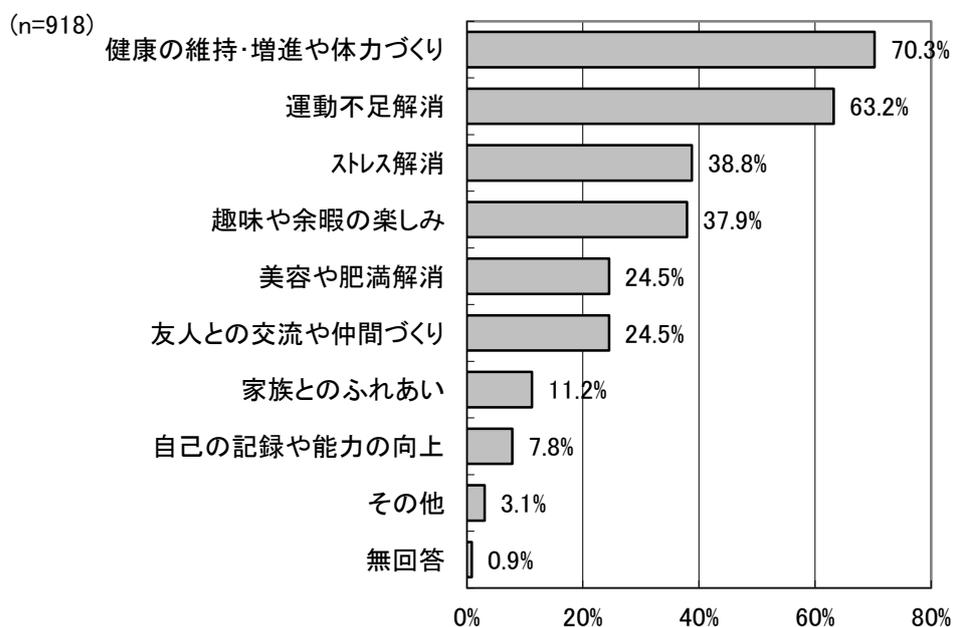
注) n値は18歳以上のみを対象とした数値。

(3) スポーツや運動を行う理由

問8-2 あなたがスポーツや運動を行うのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「5」「(1)」問8で「スポーツをしたことがある」と回答した人に対し、その理由を把握したところ、「健康の維持・増進や体力づくり」の割合(70.3%)が最も多く、次いで、「運動不足解消」(63.2%)と2項目が突出して高い。その他として、「ストレス解消」(38.8%)、「趣味や余暇の楽しみ」(37.9%)、「美容や肥満解消」「友人との交流や仲間づくり」(24.5%)の順となっている。その他の理由として、プロを目指す等が挙げられた。

図表 IV-55 スポーツを行う理由(複数回答、n=918)



注) n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

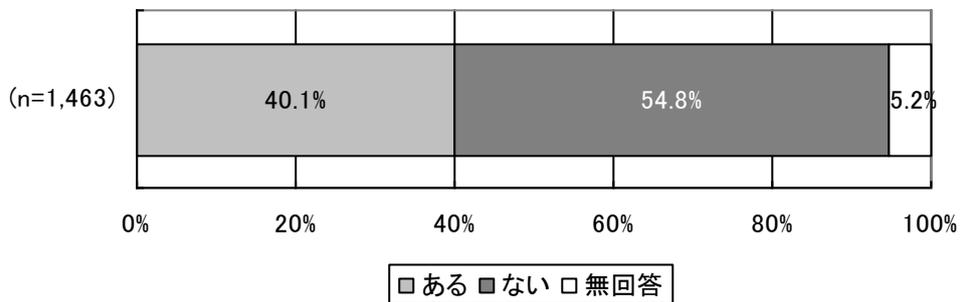
6 生涯学習活動に関する取り組み

(1) 1年間の生涯学習活動の取り組み状況

問9 あなたは、この1年間で何らかの生涯学習活動を行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「生涯学習活動を行っていない」の割合（54.8%）がやや多いが、「生涯学習活動を行った」（40.1%）も一定の割合を占めており、拮抗している。

図表 IV-56 生涯学習活動の取り組み状況（単一回答、n=1,463）



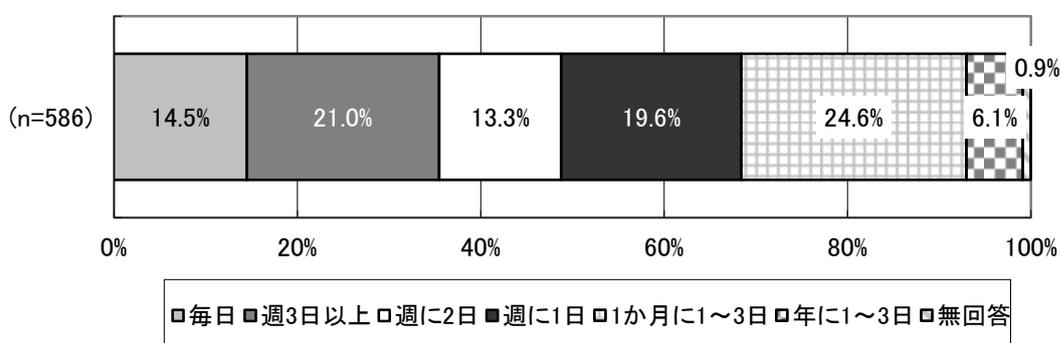
注) n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

(2) 生涯学習活動を行う頻度

問9-1 あなたはどのくらいの頻度で生涯学習活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「6」「(1)」問9で「生涯学習を行ったことがある」と回答した人に対し、その頻度を把握したところ、「1か月に1～3日」の割合(24.6%)が最も多く、次いで、「週3日以上」(21.0%)、「週に1日」(19.6%)、「毎日」(14.5%)、「週に2日」(13.3%)の順となっており、ばらつきがみられる。

図表 IV-57 生涯学習活動を行う頻度（単一回答、n=586）



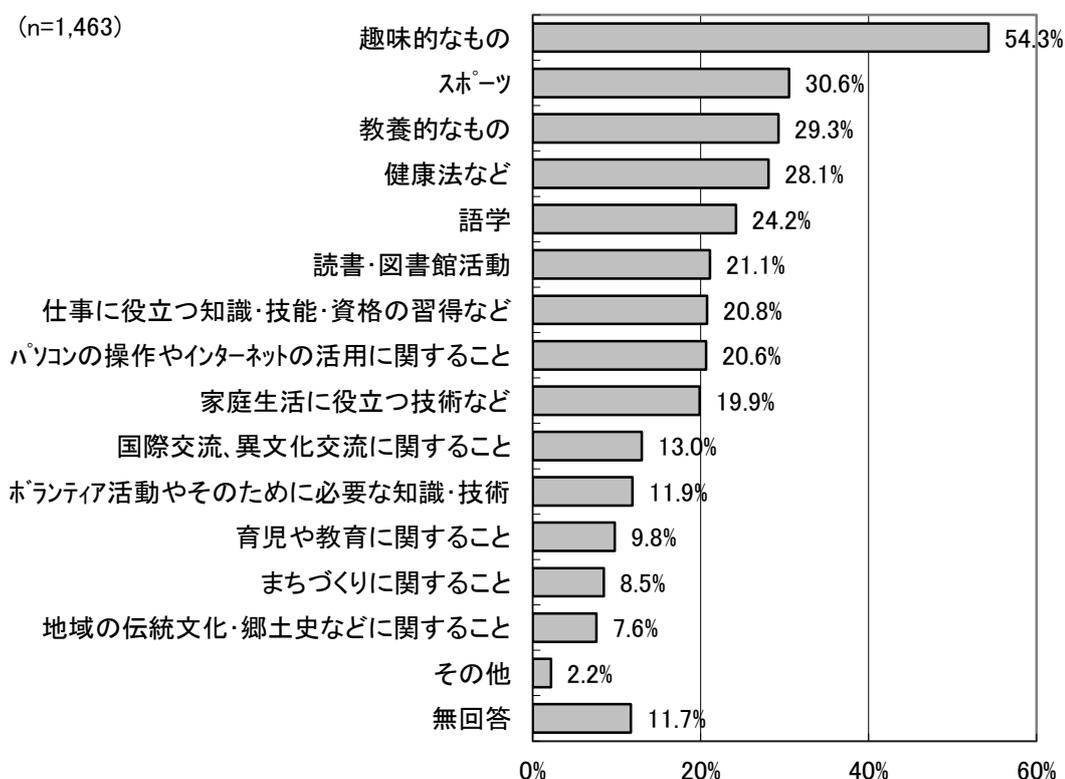
注) n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

(3) 今後行いたい生涯学習活動

問10 今後あなたが行いたい生涯学習活動の内容はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「6」「(1)」問9で「生涯学習を行ったことがある」と回答した人に対し、今後行いたい生涯学習活動の内容について把握したところ、「趣味的なもの」の割合(54.3%)が最も多く、次いで、「スポーツ」(30.6%)、「教養的なもの」(29.3%)、「健康法など」(28.1%)、「語学」(24.2%)の順となっている。その他の具体的な内容として、俳句・短歌サークル、青年会議所での活動、ワーキングマザー間の交流の場の確保等が挙げられた。

図表 IV-58 今後行いたい生涯学習活動の内容(複数回答、n=1,463)



注) n値は18歳以上のみを対象とした数値。

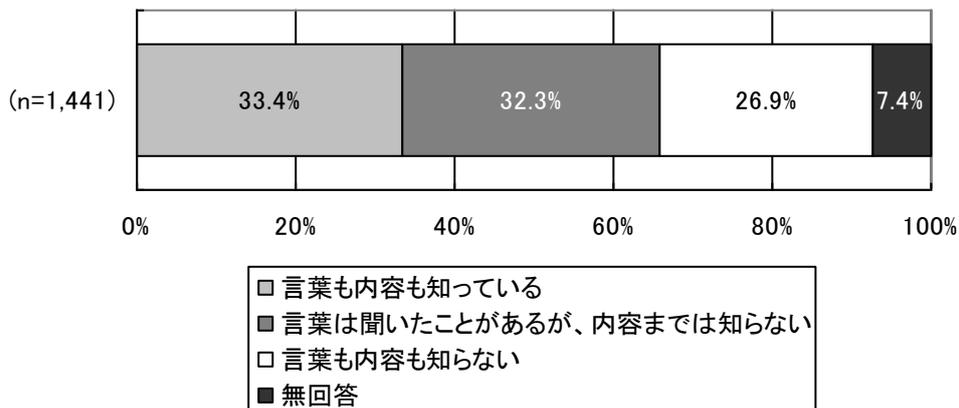
7 働き方に関する状況

(1) 「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の認知

問11 あなたは、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の認知について、「言葉も内容も知っている」の割合(33.4%)が最も多いが、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(32.3%)と拮抗している。内容の認知を除けば、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」という言葉の認知度は、合計で67.7%となっている。一方、「言葉も内容も知らない」(26.9%)の割合も一定程度ある。

図表 IV-59 「仕事と生活の調和」の認知(単一回答、n=1,441)



注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

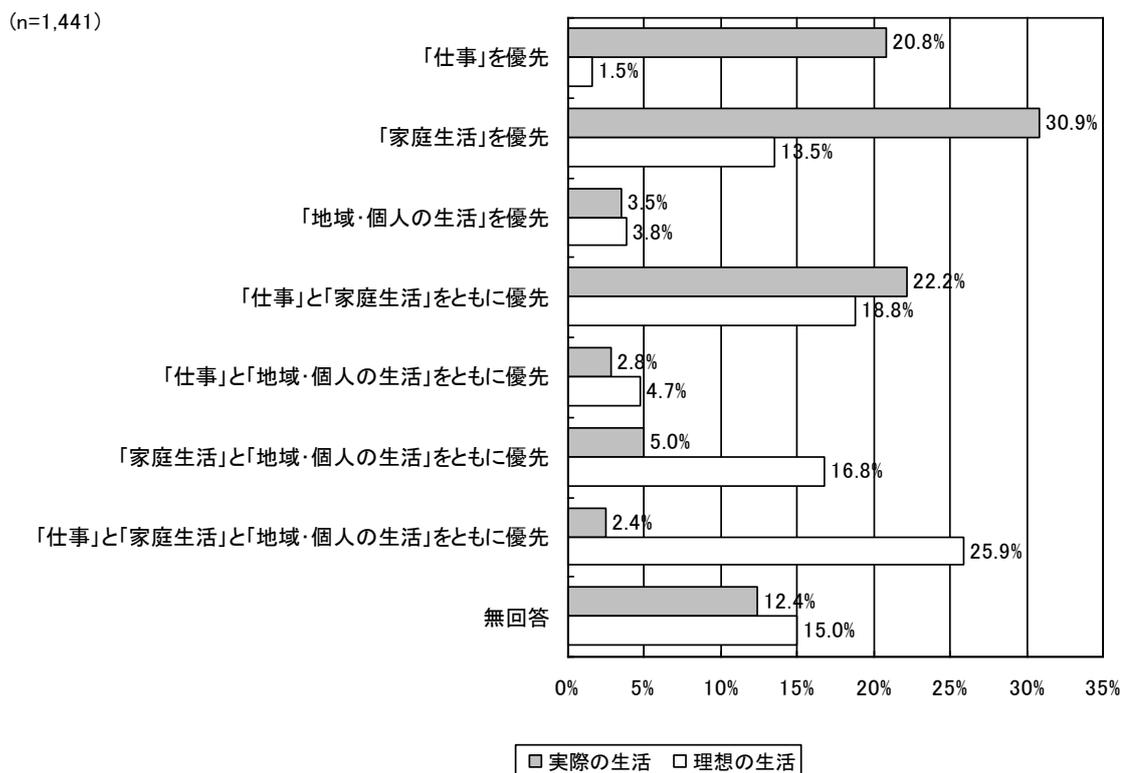
(2) 仕事、家庭、地域・個人の生活における実際・理想別の優先度の比較

問12 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味等）の優先度についておうかがいします。「①実際の生活」「②理想の生活」でそれぞれあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

仕事、家庭、地域・個人の生活について、実際・理想別の優先度について把握したところ、実際の生活では、「家庭生活」を優先の割合（30.9%）が最も多く、次いで、「仕事」と「家庭生活」をともに優先（22.2%）、「仕事」を優先（20.8%）の順に多くなっている。一方、理想の生活では、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先の割合（25.9%）が最も多く、次いで、「仕事」と「家庭生活」をともに優先（18.8%）、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先（16.8%）の順に多くなっている。理想と実際で比較的大きな乖離が見られた項目は「仕事」を優先、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先で、依然として、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現が進んでいない状況が一部でみられる。

図表 IV-60 仕事、家庭、地域・個人の生活における実際・理想別の優先度の比較

（単一回答、n=1,441）



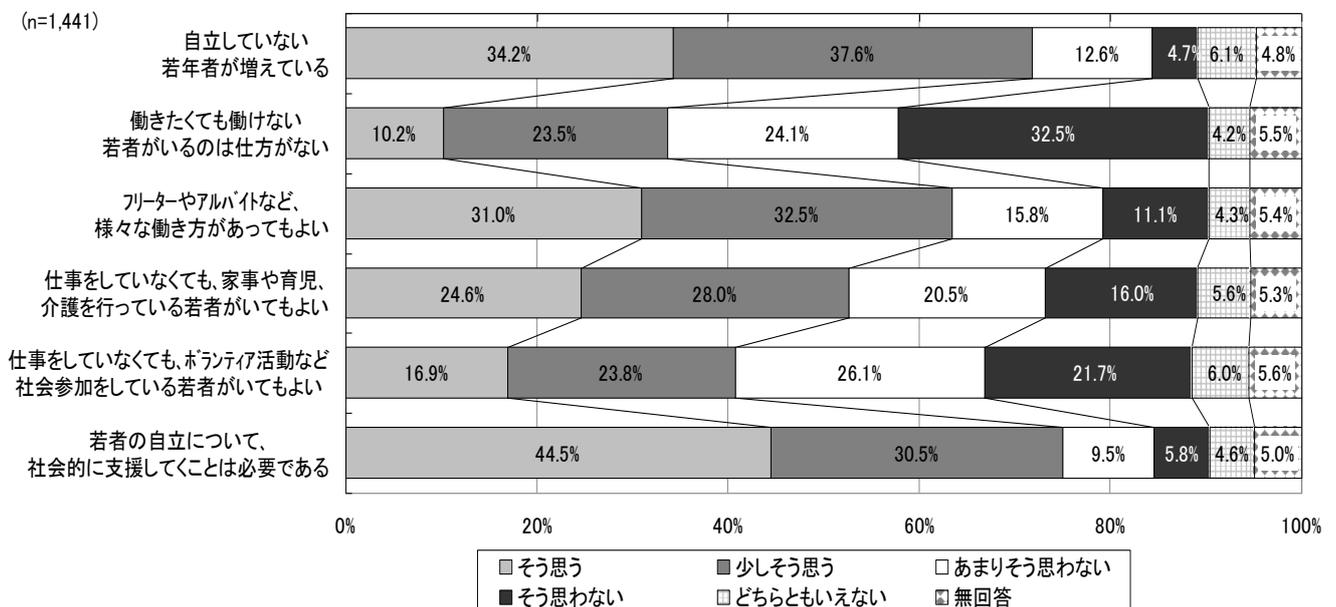
注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

(3) 若年者の自立に関する意識

問 13 若年者の自立について、次のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

項目別では、「若者の自立について、社会的に支援していくことは必要である」で「そう思う」「少しそう思う」の合計割合（75.0%）が最も多く、次いで「自立していない若年者が増えている」（71.8%）、「フリーターやアルバイトなど、様々な働き方があってもよい」（63.5%）の順に多くなっている。

図表 IV-61 若年者の自立に関する意識（単一回答、n=1,441）



注) n 値は 20 歳以上のみを対象とした数値。

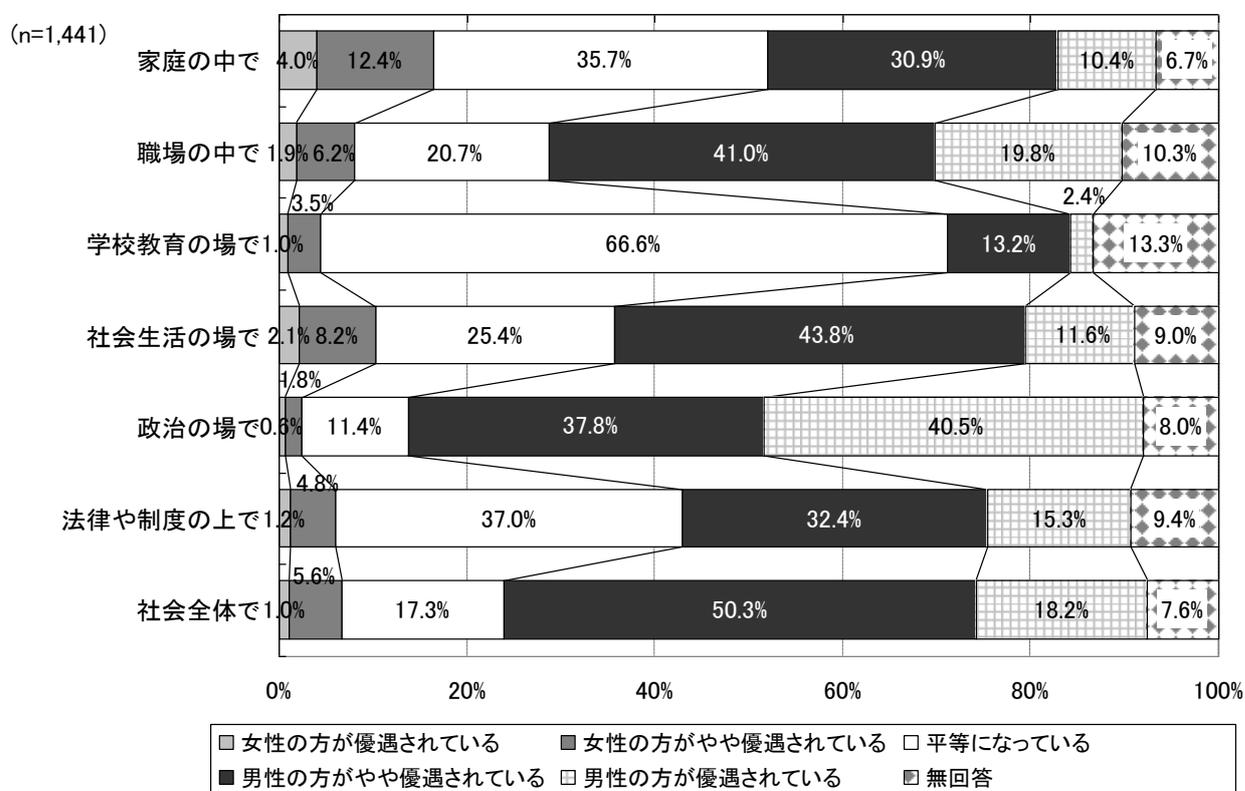
8 男女平等に関する意識

(1) 男女平等に関する意識

問14 あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

項目別では、「政治の場で」で「男性の方がやや優遇されている」と「男性の方が優遇されている」の合計割合（78.3%）が最も多く、次いで「社会全体で」（68.5%）、「職場の中で」（60.8%）の順となっている。一方、「学校教育の場で」で「平等になっている」の割合（66.6%）が最も多い。

図表 IV-62 男女平等に関する意識（単一回答、n=1,441）



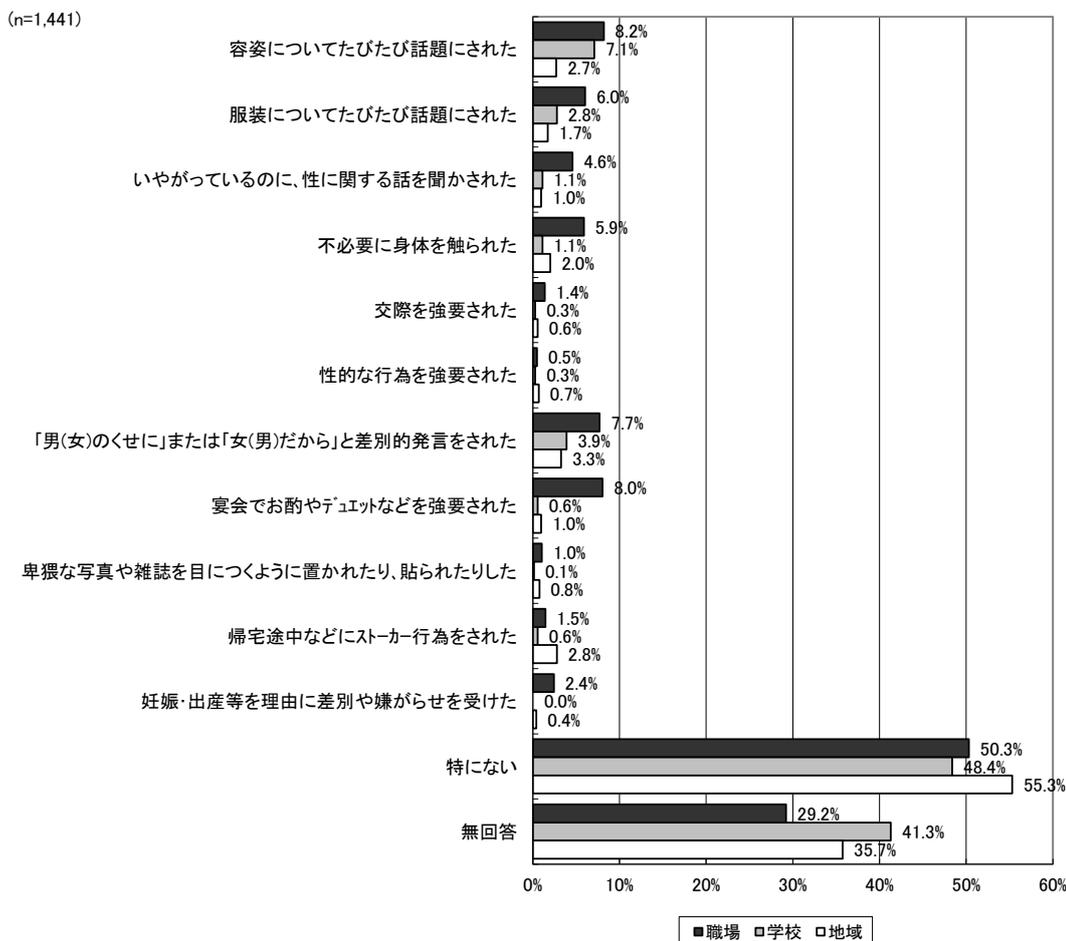
注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

(2) 職場・学校・地域での不愉快な経験(セクシュアル・ハラスメント等)の有無

問15 あなたはこれまでに、職場・学校・地域などで、次のような不愉快な経験(セクシュアル・ハラスメント等)をしたことがありますか。それぞれについて、職場、学校、地域ごとに、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

職場・学校・地域などでの不愉快な経験(セクシュアル・ハラスメント等)について、「特にない」とする割合が全般として多いものの、職場では、「容姿についてたびたび話題にされた」(8.2%)、「宴会でお酌やデュエットなどを強要された」(8.0%)、「男(女)のくせに」または「女(男)だから」と差別的発言をされた」(7.7%)の項目が比較的高く、学校・地域と比較しても不愉快な経験の割合が比較的高い。

図表 IV-63 職場・学校・地域での不愉快な経験の有無(単一回答、n=1,441)



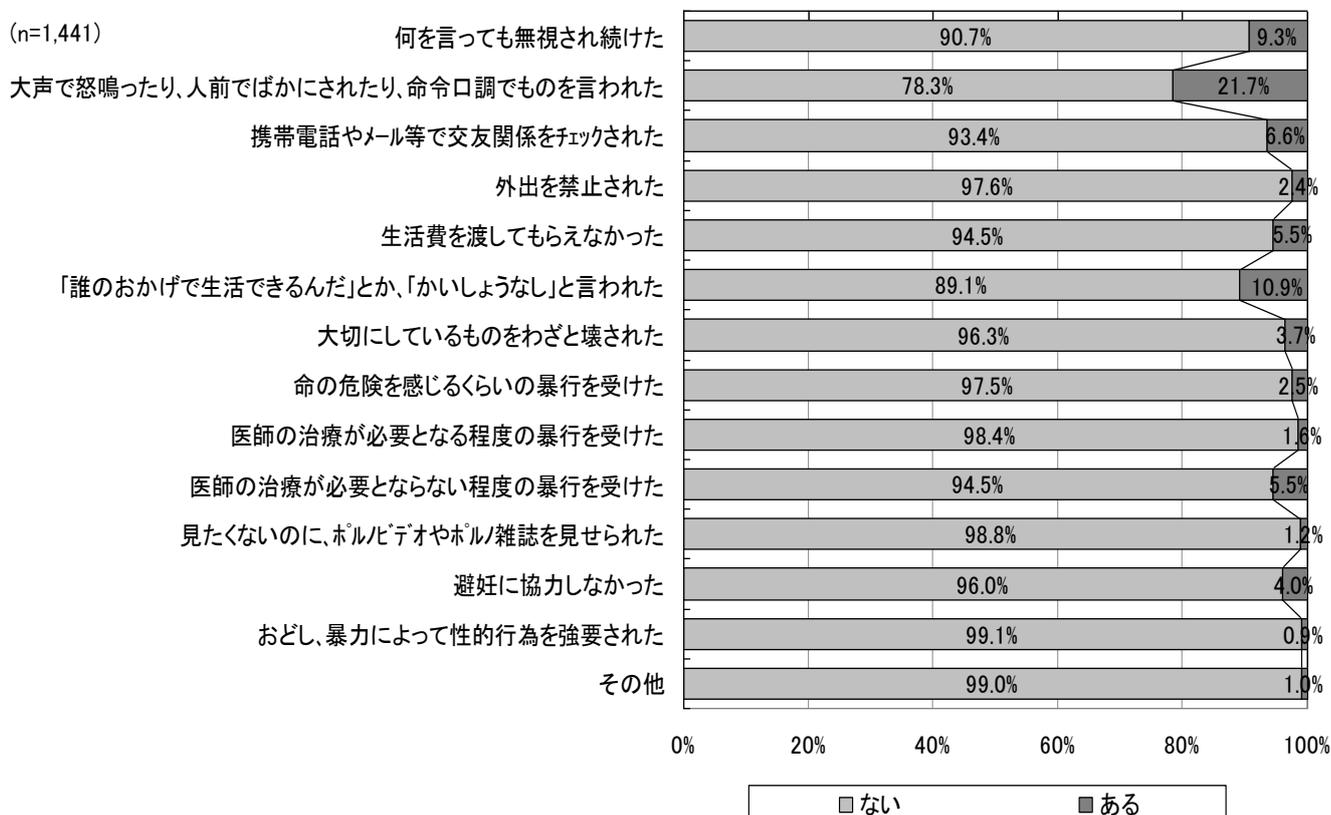
注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

(3) 親密な関係にある人からの暴力等の経験

問 16 あなたはこれまでに、配偶者や恋人など親密な関係にある人から、次のような行為や暴力を受けたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

いずれの項目も経験がないとする人が大半を占めるが、「経験がある」とした人の割合では、「大声で怒鳴ったり、人前でばかにされたり、命令口調でものをいわれた」の割合（21.7%）が最も多く、次いで「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言われた」（10.9%）、「何を言っても無視され続けた」（9.3%）の順となっている。その他の内容として、「いつも不機嫌な態度をとる」等が挙げられた。

図表 IV-64 親密な関係にある人からの暴力等の経験（単一回答、n=1,441）



注) n 値は 20 歳以上のみを対象とした数値。

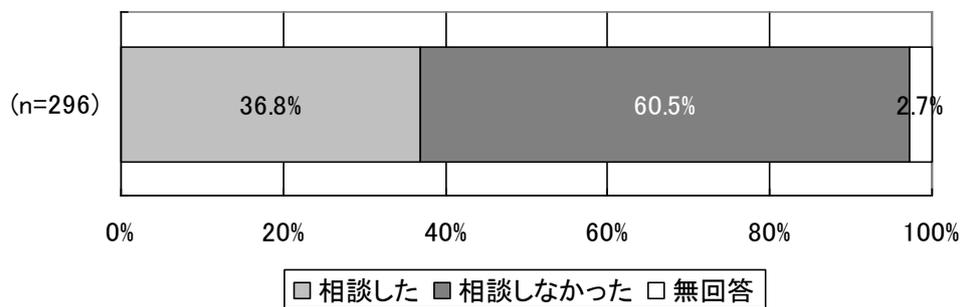
各項目の割合は無回答を除いた回答者数の合計で割り戻した値であることに留意が必要。

(4) 暴力等の相談経験の有無

問16-1 あなたはこれまでに、このような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「8」「(3)」問16でいずれかの項目に「経験がある」と回答した人に対し、その内容を相談した経験の有無について把握したところ、「相談しなかった」の割合(60.5%)が多くなっている。

図表 IV-65 親密な関係にある人からの暴力等の相談経験の有無(単一回答、n=296)



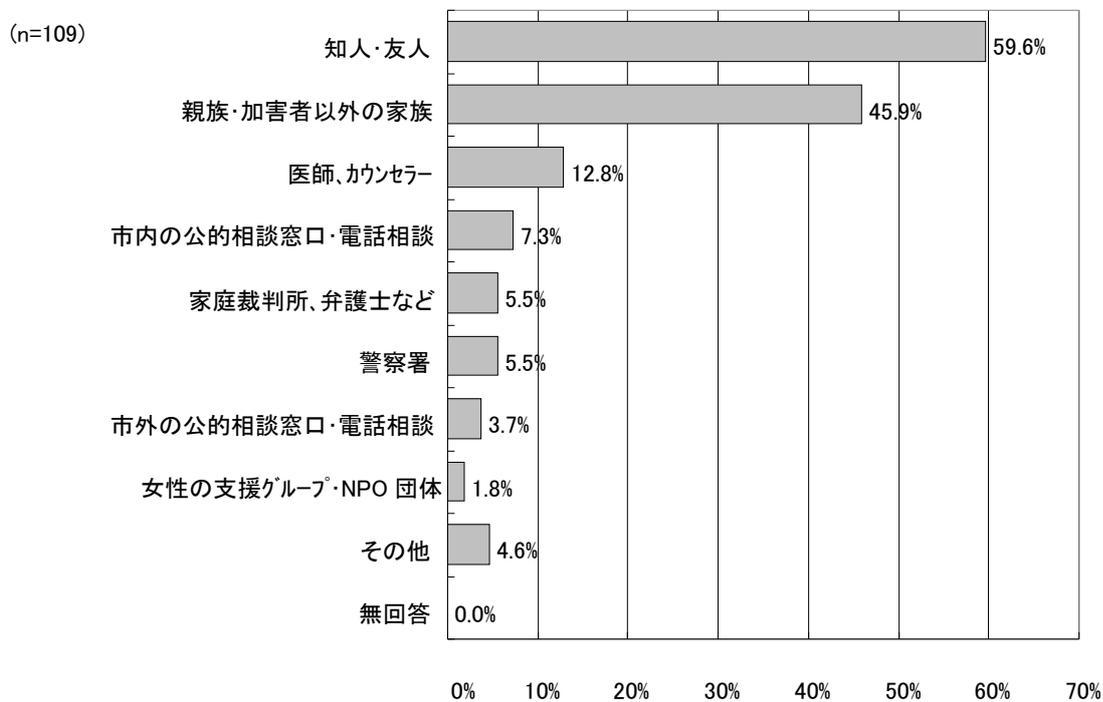
注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

(5) 暴力等の相談先

問16-2 実際に、誰（どこ）に相談しましたか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「8」「(4)」問16-1で親密な関係にある人からの暴力等を「相談した」と回答した人に対し、その相談先について把握したところ、「知人・友人」(59.6%)、次いで「親族・加害者以外の家族」(45.9%)で、2項目が突出して高くなっている。その他の内容として、本人と話した、会社の上司等が挙げられた。

図表 IV-66 親密な関係にある人からの暴力等の相談先（複数回答、n=109）



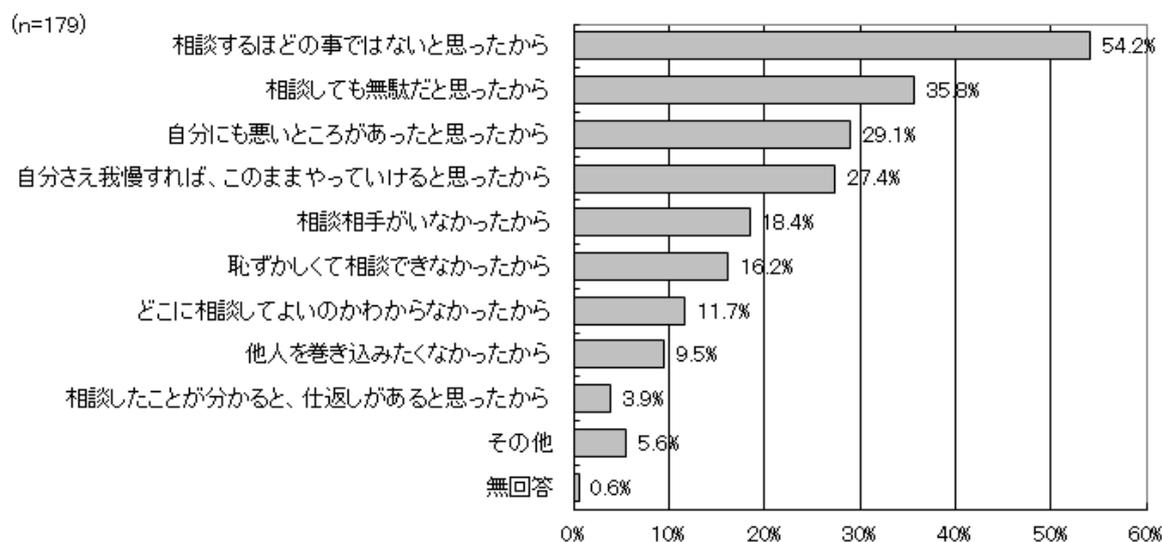
注) n 値は 20 歳以上のみを対象とした数値。

(6) 暴力等を相談しなかった理由

問16-3 誰（どこ）にも相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「8」「(4)」問16-1で親密な関係にある人からの暴力等を「相談しなかった」と回答した人に対し、その理由を把握したところ、「相談するほどの事ではないと思ったから」の割合(54.2%)が最も多く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」(35.8%)、「自分にも悪いところがあったと思ったから」(29.1%)、「自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから」(27.4%)の順となっている。その他の内容として、自分自身で解決できた等が挙げられた。

図表 IV-67 親密な関係にある人からの暴力等を相談しなかった理由（複数回答、n=179）



注) n値は20歳以上のみを対象とした数値。

資料編

「第4次三鷹市基本計画第1次改定等に向けた市民満足度・意向調査」
三鷹市の施策に対するご意見をお聞かせください

このたびは、突然のお願いで失礼いたします。現在、三鷹市では、平成27年度に予定している第4次基本計画第1次改定に向けた準備とともに、個別計画の改定等に関連して生涯学習や男女平等などの施策に関する検討を進めています。

このため、現在取り組んでいるさまざまな課題やまちづくりの進め方について、広く市民の皆様のご意見をうかがい、基本計画の第1次改定に反映するとともに、今後のより良い行政サービスの提供に向けた仕組みづくりを検討するため、アンケート調査を実施いたします。

調査の実施にあたりましては、市内にお住まいの満15歳以上の方から、住民基本台帳をもとに無作為に3,500名を選ばせていただきました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、広く市民の皆様のご意見を反映した市政運営のため、どうぞ最後の質問まで、もれなくご回答いただき、貴重なご意見をおよせいただきますように、心からお願い申し上げます。

平成27年2月

三鷹市長

清原慶子

※この調査は無記名形式で行い、ご回答いただいたアンケート調査票から個人が特定されることはありません。また、結果はすべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

※本調査の集計等は三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して行いますが、上記の点について遵守する契約をかわしています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご回答済の調査票は、同封の返信用封筒に封入のうえ、

2月23日(月) までにご投函ください。

*本アンケート調査に関してご質問・ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

三鷹市役所 企画部企画経営課 企画調整係
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
【電話】 0422-45-1151 (代表) 内線2113
【FAX】 0422-48-1419
【E-mail】 kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

問1-2: 問1で「3. あまり住みたくない」「4. すぐにもでも転出したい」と回答した方にうかがいます。

三鷹市に住み続けたくない理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|-------------|----------------|------------|
| 1. 住環境が悪い | 2. 交通の便が悪い | 3. 自然環境が悪い | 4. 教育環境が悪い |
| 5. 文化的な環境が悪い | 6. 買い物などに不便 | 7. 公共施設が利用しにくい | |
| 8. 近隣の人間関係が良好でない | 9. 住宅のつごうで | | |
| 10. その他（具体的に： _____） | | | |

III あなたご自身の地域活動への取り組みについてうかがいます。

問2: あなたが今、地域で行っている活動について、あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------|
| 1. 既に活動している _____ | → | 問2-1にお答えください |
| 2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている _____ | → | 問2-1、問2-2にお答えください |
| 3. 活動していない _____ | → | 問2-2にお答えください |

問2-1: 問2で「1. 既に活動している」「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方にうかがいます。現在行っている活動、または今後行いたいと考えている活動について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 趣味・スポーツなどの自主的なサークル活動やクラブ活動 |
| 2. 趣味・スポーツなどについて指導的立場で学びを提供する活動 |
| 3. 子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動 |
| 4. 自主防災組織や各防災機関などの防災活動 |
| 5. 歩道脇や公園の花壇の管理などの緑化推進活動 |
| 6. 住まいの周辺や公道などの清掃活動 |
| 7. リサイクルや省エネルギー対策などの環境保全活動 |
| 8. 高齢者や障がい者の自立支援や生活支援などの福祉活動 |
| 9. 子育てボランティアやファミリーサポートなどの子育て家庭支援活動 |
| 10. 学校支援や青少年団体の指導などの教育・青少年育成活動 |
| 11. 町会・自治会や住民協議会の行事に参加するなどの地域コミュニティ活動 |
| 12. その他（具体的に： _____） |
| 13. 特になし |

⇒問2で「1. 」と回答した方は「IV」にお進みください

問2-2: 問2で「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「3. 活動していない」と回答した方にうかがいます。あなたが今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要となりますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 特に必要な条件はない |
| 2. 活動に関する情報提供の充実 |
| 3. 誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気 |
| 4. 仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯への配慮 |
| 5. 仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担 |
| 6. その他（具体的に： _____） |

IV 市政に対する満足度と、今後の取り組みの重要性についてうかがいます。

問3: 三鷹市では、第4次三鷹市基本計画(平成24年3月策定)で、市政の重点課題として9つのプロジェクトを設定し、取り組みを進めてきました。これまで4年間の取り組みに対する評価(満足度)と引き続き重点的に取り組む必要性(重要度)について、記入例を参考に、**あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。**なお、わからない場合には、空欄にしてください。

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	④	3	2	1	③	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
1. 成熟した都市の質的向上を目指す、都市再生プロジェクト	
概要	既存の社会資本を有効に使いつつ、環境と調和を図りながら、ハード・ソフト両面における「都市の質的向上」を図ることで、命と暮らしを守るまちづくりをめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の完成に向けた「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」の建設着手 公会堂のリニューアルオープンと公会堂別館の建替え、コミュニティ・センターの耐震補強の実施 第三小学校の建替えなど、全小・中学校校舎耐震化の完了を含む教育施設の更新・整備 クリーンプラザふじみ(ごみ処理施設)の稼働

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
2. ともに支えあう地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	
概要	高齢者、子育て世代、障がい者等、すべての市民が地域において健康で心ゆたかに生活を営めるような、ともに支えあう地域社会をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 町会・自治会の地域活動の支援、町会・自治会とNPO等との協働を推進する、「がんばる地域応援プロジェクト」の実施 市民による共助の仕組みである「地域ケアネットワーク」の全市展開(平成27年2月予定) 見守りネットワーク事業の推進(平成27年1月末現在見守り協力団体数 28団体) コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
3. 危機管理に備える防災都市をつくる、危機管理プロジェクト	
概要	東日本大震災の教訓を踏まえ、自然災害から感染症に至るまで、あらゆる危機から市民の命と暮らしを守り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 防災出前講座、下連雀六丁目防災広場の整備など自助・共助の防災力の強化 防災関係機関連携訓練の実施などによる公助の連携強化 地域と連携した防犯カメラの設置、安全安心市民協働パトロール 新型インフルエンザなどの感染症に対する危機管理体制の整備 雨水管(下水道)の設置など都市型水害対策の推進

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

(問3 続き)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではな
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
4. いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	
概要	まちの未来を担う子どもたちが健やかに育つまち、子どもを育む力のある地域社会の実現をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て支援新制度に向けた取り組み 親子ひろば事業や子育てサポーター、乳児家庭全戸訪問事業などの在宅子育て支援 待機児童の解消に向けた民間認可保育所の開設支援、保育定数の拡充 学童保育所の整備拡充 学校と家庭で実践できる学力向上の取り組みを提言した「三鷹『学び』のスタンダード」の作成などコミュニティ・スクール機能の充実

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではな
5	4	3	2	1	3	2	1

5. いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	
概要	保健・医療・福祉の連携、スポーツ施設を活用した施策展開により、いつまでも元気に暮らせる健康長寿社会の実現をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくり・スポーツ活動の拠点となる「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」の開設準備 生きがい活動の支援・充実 特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施 妊婦健康診査の公費負担拡大 がん検診、各種予防接種の拡充 認知症医療連携等の推進、認知症サポーターの養成 適正な介護保険制度の運用

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではな
5	4	3	2	1	3	2	1

6. 市民の命、暮らしを守り、セーフティーネットプロジェクト	
概要	国の社会保障制度を踏まえつつ、市民に最も身近な政府として、市民の暮らしを守るセーフティーネットの構築をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 就労自立支援プログラムによる生活保護受給者の自立支援と適正な制度運用 緊急資金融資あっせん事業や緊急雇用創出事業の実施 北野ハピネスセンターにおける医療的ケア、子どもの発達支援の充実 買い物に困難がある市民に向けた買い物支援

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではな
5	4	3	2	1	3	2	1

(次ページに続きます)

(問3 続き)

(記入例)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

プロジェクト名称/概要/4年間の主な取り組み	
7. 持続可能な都市環境をめざす、サステナブルプロジェクト	
概要	「環境問題」のほか、「経済の活性化」「社会問題の解決」など3つの要素について、「統合的」に包含して、持続可能な都市、即ち「サステナブル都市」の実現をめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・エコタウン開発奨励制度の創設などのエネルギー施策と地球温暖化対策の推進 ・ごみの排出抑制や減量化・資源化の推進 ・市役所庁舎照明、街路灯のLED(発光ダイオード)化 ・都市型農業の育成 ・三鷹らしい景観を「守り」「生かし」「創り」「育てる」景観条例の制定 ・公園緑地の整備、学校校庭や屋上の芝生化など緑化推進 ・持続可能な自治体経営に向けた行財政改革の推進

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

8. まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	
概要	産業や人財、知恵や情報など、三鷹のまちにある貴重な、あらゆる資源を活用して、地域の活性化を図ることをめざします。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・都市型産業の育成や誘致 ・「三鷹の森ジブリ美術館」や「太宰治文学サロン」など、地域資源を活用した観光振興 ・三鷹フィルムコミッション(映画などの撮影場所誘致)の設立 ・三鷹のおみやげ認定商品「TAKA-1」(タカワン)の創出や商店街の振興 ・東京外かく環状道路中央ジャンクション周辺「北野の里(仮称)」のまちづくり ・三鷹駅前地区再開発の適切な支援 ・南部図書館みんなみの開館と図書館サポーターの養成

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

9. 誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	
概要	環境にやさしく、誰もが安全で安心して快適に移動できる都市の交通環境を整備します。
4年間の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・連雀通りなど都市計画道路の整備促進 ・歩道の段差解消、電柱の移設等による歩行空間の整備 ・新川・中原ルートの実行開始などコミュニティバス路線の拡充 ・駐輪場整備基本方針に基づく自転車利用環境の整備 ・自転車安全講習会の拡充など交通安全の推進

(概要と4年間の主な取り組みの内容をご覧頂き、お答え下さい)

回答欄A: 取り組みに対する評価 (満足度)					回答欄B: 引き続き重点的に 取り組む必要性 (重要度)		
満足	まあ満足	ふつう	やや不満	不満	重要	ふつう	重要ではない
5	4	3	2	1	3	2	1

(次ページに続きます)

V 市政に対する総合的な満足度、行政機関としての信頼度についてうかがいます。

問4: 三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 満足している 2. まあ満足している 3. やや不満 4. 不満

問5: そのように思う理由をご記入ください。

問4の理由:

問6: 三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 信頼できる 2. まあ信頼できる 3. あまり信頼できない 4. 信頼できない

問7: 三鷹市役所に期待すること、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

(次ページに続きます)

問10: 今後あなたが行いたい生涯学習活動の内容はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 趣味的なもの（音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など）
2. 教養的なもの（歴史、文学、哲学など）
3. まちづくりに関すること（環境問題、社会問題など）
4. スポーツ（※スポーツに含まれるものについては、8ページ「VI」の「■スポーツとは」を参照）
5. 健康法など（健康管理、栄養、医療など）
6. 家庭生活に役立つ技術など（料理、洋裁など）
7. 育児や教育に関すること
8. 語学（英語、中国語、ハングルなど）
9. 読書・図書館活動
10. パソコンの操作やインターネットの活用に関すること
11. 仕事に役立つ知識・技能・資格の習得など
12. 地域の伝統文化・郷土史などに関すること
13. 国際交流、異文化交流に関すること
14. ボランティア活動やそのために必要な知識・技術（手話、点訳、介護など）
15. その他（具体的に： _____)

VIII あなたの働き方についてうかがいます。

問11: あなたは、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問12: 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味等)の優先度についておうかがいします。「①実際の生活」「②理想の生活」でそれぞれあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先
①実際の生活	1	2	3	4	5	6	7
②理想の生活	1	2	3	4	5	6	7

問13: 若年者の自立について、次のそれぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	そう 思う	少しそ う思う	あまり そう思 わない	そう思 わない	どちら ともい えない
(ア) 自立していない若年者が増えている	1	2	3	4	5
(イ) 現在の経済状況では、働きたくても働けない若者がいるのは仕方がない	1	2	3	4	5
(ウ) フリーターやアルバイトなど、様々な働き方があってもよい	1	2	3	4	5
(エ) 仕事をしていなくても、家事や育児、介護を行っている若者がいてもよい	1	2	3	4	5
(オ) 仕事をしていなくても、ボランティア活動など社会参加をしている若者がいてもよい	1	2	3	4	5
(カ) 若年者の自立について、社会的に支援して行くことは必要である	1	2	3	4	5

IX 男女平等に関するあなたのお考えについてうかがいます。

問14: あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

	女性の方が 優遇されて いる	女性の方が やや優遇さ れている	平等になっ ている	男性の方が やや優遇さ れている	男性の方が 優遇されて いる
(ア) 家庭の中で	1	2	3	4	5
(イ) 職場の中で	1	2	3	4	5
(ウ) 学校教育の場で	1	2	3	4	5
(エ) 社会生活の場で	1	2	3	4	5
(オ) 政治の場で	1	2	3	4	5
(カ) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
(キ) 社会全体で	1	2	3	4	5

問15: あなたはこれまでに、職場・学校・地域などで、次のような不愉快な経験(セクシュアル・ハラスメント等)をしたことがありますか。(ア)～(シ)のそれぞれについて、職場、学校、地域ごとに、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

	職場で	学校で	地域で
(ア)容姿についてたびたび話題にされた	1	2	3
(イ)服装についてたびたび話題にされた	1	2	3
(ウ)いやがっているのに、性に関する話を聞かされた	1	2	3
(エ)不必要に身体を触られた	1	2	3
(オ)交際を強要された	1	2	3
(カ)性的な行為を強要された	1	2	3
(キ)「男(女)のくせに」または「女(男)だから」と差別的発言をされた	1	2	3
(ク)宴会でお酌やデュエットなどを強要された	1	2	3
(ケ)卑猥な写真や雑誌を目につくように置かれたり、貼られたりした	1	2	3
(コ)帰宅途中などにストーカー行為をされた	1	2	3
(サ)妊娠・出産等を理由に差別や嫌がらせを受けた	1	2	3
(シ)特にない	1	2	3

問16: あなたはこれまでに、配偶者や恋人など親密な関係にある人から、次のような行為や暴力を受けたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

	ない	ある
(ア)何を言っても無視され続けた	1	2
(イ)大声で怒鳴ったり、人前でばかにされたり、命令口調でものを言われた	1	2
(ウ)携帯電話やメール等で交友関係をチェックされた	1	2
(エ)外出を禁止された	1	2
(オ)生活費を渡してもらえなかった	1	2
(カ)「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言われた	1	2
(キ)大切にしているものをわざと壊された	1	2
(ク)命の危険を感じるくらいの暴行を受けた	1	2
(ケ)医師の治療が必要となる程度の暴行を受けた	1	2
(コ)医師の治療が必要とされない程度の暴行を受けた	1	2
(サ)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた	1	2
(シ)避妊に協力しなかった	1	2
(ス)おどし、暴力によって性的行為を強要された	1	2
(セ)その他(具体的に:)	1	2

⇒1つでも「ある」に該当する方は問16-1へ

⇒すべて該当しない方は終了です。

問16-1: **問16で1つでも「ある」と回答した方**にうかがいます。

あなたはこれまでに、このような行為を受けたことを誰かに打ち明けたり、相談したことがありますか。
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 相談した	2. 相談しなかった（できなかった） → 問16-3へ
---------	-----------------------------

問16-2: **問16-1で「1. 相談した」と回答した方**にうかがいます。

実際に、誰(どこ)に相談しましたか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

1. 親族・加害者以外の家族	2. 知人・友人
3. 家庭裁判所、弁護士など	4. 警察署
5. 市内の公的相談窓口・電話相談	6. 市外の公的相談窓口・電話相談
7. 医師、カウンセラー	8. 女性の支援グループ・NPO団体
9. その他（具体的に： _____）	

問16-3: **問16-1で「2. 相談しなかった(できなかった)」と回答した方**にうかがいます。

誰(どこ)にも相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

1. 相談相手がいなかったから
2. 恥ずかしくて相談できなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことが分かると、仕返しがあると思ったから
5. 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
6. 他人を巻き込みたくなかったから
7. 自分にも悪いところがあったと思ったから
8. どこに相談してよいのかわからなかったから
9. 相談するほどの事ではないと思ったから
10. その他（ _____ ）

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ(切手不要)、**2月23日(月)までに** ご投函ください。

第4次三鷹市基本計画第1次改定等に向けた
市民満足度・意向調査報告書

平成27年3月発行

発行 三鷹市
編集 三鷹市企画部企画経営課
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
電話 0422-45-1151（代表）